ピックアップ N3003

取扱説明書

ピックアップ N3003

OMKM129574　L0 版　(JAPANESE)

Machinenfabrik Kemper GmbH & Co. KG
欧州版
PRINTED IN U.S.A.

序文

このマニュアルをよく読んで、機械を正しく運転、整備する方法を習得してください。これを守らないと、けがをしたり、装置が損傷したりするおそれがあります。このウィンドローピックアップは、フォーレージハーベスターのみに取り付けて操作できます。ユーザーは、公道でフォーレージハーベスターを運転する資格を持っている必要があります。本取扱説明書と機械上の安全標識は、他の言語でも入手可能です。KEMPER 販売店にお問い合わせください。

本取扱説明書は機械の常備部品と見なし、本機を売却する場合は一緒に引き渡す必要があります。

このマニュアルの測定値はメートル法で記載されます。ヤード・ポンド法の相当する値も記載されます。正しい交換部品と留め具のみを使用してください。メトリックまたはインチの留め具には、専用のメトリックまたはインチサイズのレンチが必要になる場合があります。

右側か左側かは、作業機の前進方向に向かった状態で決まります。

「輸送」とは、フォーレージハーベスターに取り付けたウィンドローピックアップを、フォーレージハーベスターと共に A 地点から B 地点に輸送することを指します。

「運搬」とは、平床式キャリアに載せたウィンドローピックアップを、平床式キャリアで A 地点から B 地点に運搬することを指します。

このウィンドローピックアップの積載と運搬は、安全に積載する方法を熟知し、それを証明できる人のみが実施する必要があります。

製品識別番号 (P.I.N.) を「仕様」セクションまたは「製品識別番号」セクションに記入してください。すべての数字を正確に記入しておくと、盗難時に機械を追跡するために役立ちます。この番号は KEMPER 販売店で部品を注文する際にも必要になります。識別番号を機械から離れた、安全な場所に保管してください。

この機械を納入する前に、販売店は納品前点検を実施しています。

使用目的：このウィンドローピックアップは、切断済みの次のような作物のピックアップにのみ使用できます。

- 牧草
- マメ科の作物
- 穀類
- アルファルファ

他の方法に使用すると、使用目的に反していると見なされます。メーカーは、このような誤使用の結果として生じた損傷やけがについて一切責任を負いません。これらの危険はすべてユーザーが負う必要があります。

このウィンドローピックアップは、手動で材料を搬送するために使用することはできません。また、以下の集荷には適していません。

- 切断した木や生垣の刈り込み
- 木材
- 金属物質
- 石を含んでいる資材

また、メーカーの指定する操作、整備、修理の条件を順守し、厳密に従うことも「使用目的」の必須要素です。

このウィンドローピックアップは、工業部門の整備士、取付技術者、または相当の資格を有する人だけが整備および修理を行う必要があります。電気システムは、電気技師のみが修理を行う必要があります。事故防止規則、一般的に認められている安全衛生上の規則、交通法規を常に順守する必要があります。使用目的で許可されている材料以外の材料を収穫するために機械を変更することは禁止されています。このウィンドローピックアップを勝手に改造した場合、その結果として生じる損傷やけがに対してメーカーはすべての責任を免除されます。

KM00321,00008F9-40-02APR19-1/1

販売店の記録

所有者名 _____ 販売日 _____

アドレス _____ モデル番号 _____

市区町村 _____ シリアル番号 _____

都道府県 _____ 郵便番号 _____

AG,CC03745,280-40-09FEB00-1/1

納品前点検

機械の納品前に次の点検、調整、および整備作業を実施しました：

1. □ ピックアップは正しく組み立てられている。
2. □ オプション装置は正しく取り付けられている。
3. □ ボルトとナットはすべて適切なトルクで締め付けられている。
4. □ グリースフィッティングと潤滑箇所にすべて給油しました。
5. □ ギヤケースオイルレベルを点検し、必要に応じて補給しました。
6. □ チェーンの張力を正しく調整し、潤滑しました。
7. □ すべての可動部が自由に動く。
8. □ タイヤ空気圧を点検し、必要に応じて調整した。適正タイヤ空気圧は 450 kPa bar (4.5 bar) (65.3 psi)。
9. □ すべてのシールドは正しく開閉する。
10. □ 機械の試験走行を実施し、合格を確認しました。
11. □ 油圧ホースと接続に漏れはありません。
12. □ 塗装と銘板が滑らかで整然としています。
13. □ オペレータは機械の使用に関する安全上の注意事項を理解している。
14. □ 取扱説明書をお客様に渡しました。

日付：

署名 (取扱店または整備士)：

KM00321,000025C-40-10JAN14-1/1

目次

ページ

識別図
識別図 00-1

安全
安全情報の確認 05-1
安全上の注意事項の順守 05-1
シグナルワードについて 05-1
道路交通規則の順守 05-2
オペレータの能力 05-2
アタッチメントの安全な保管 05-2
緊急事態に対する準備 05-3
保護服の着用 05-3
機械の安全の点検 05-3
ガードとシールド 05-3
安全ライトと安全装置の使用 05-4
ピックアップの安全な操作 05-4
回転している駆動系の回避 05-4
安全メンテナンスの実行 05-5
高圧流体の回避 05-5
タイヤの安全な整備 05-6
適切な工具の使用 05-6
作業機の安全な整備 05-7
機械の適切な支持 05-7
ピックアップに近づかない 05-7
ヘッダーを取り付けた状態での輸送 05-8
安全な地面接触のためのバラスト 05-8
溶接または加熱作業前の塗料の除去 05-8
加圧流体ライン近くでの加熱の回避 05-9
安全銘板への高圧噴射の回避 05-9
廃棄物の適切な処分 05-9
廃棄：フルードや部品の適切なリサイクルと廃棄 05-10
騒音対策 05-10

安全銘板
絵入りの安全標識 10-1
安全標示ラベルの交換 10-1
取扱説明書 10-1
修理とメンテナンス 10-2
ピックアップ 10-2
高さ調整式圧縮装置 10-2
油圧ライン 10-3
回転している駆動軸に近づかない 10-3
ピックアップホイール 10-3
圧力アキュムレータ – ウインドローコンプレッサロールのサポート圧力制御 10-4
ローラー圧縮装置 - レーキの先端 10-4

運搬
ウィンドローピックアップの吊り上げ点 15-1
運搬のためのピックアップの固定 (ラッシングポイント) 15-2

ページ

ピックアップの準備
開梱と最初のステップ 25-1
ゲージホイール高さの設定 25-1
自動オーガリフトの調整の点検 25-2

ピックアップの取り付け
ジャッキスタンド高さの調整 30-1
ピックアップの取り付け 30-1
スクレーパの調整 30-5

ピックアップの取り外し
ピックアップの取り外し 35-1

輸送
道路交通規則の順守 40-1
輸送位置へのウインドローコンプレッサロールの設定 40-1

ピックアップの操作
安全操作手順の順守 45-1
上昇させたウィンドローコンプレッサロールの下側での作業 45-1
動作位置へのウインドローコンプレッサロールの設定 45-2
ウインドローコンプレッサロールの操作 45-3
ローラー圧縮装置のレーキの調整 45-4
ローラー圧縮装置のローラーの調整 45-4
ローラー圧縮装置のフロート調整 45-5
ゲージホイール高さの調整 45-6
フィードオーガ高さの調整 45-7
フィードオーガスプリングの調整 45-7
スクレーパの調整 45-7
自動オーガリフトの調整 (オプション) 45-8
サイドガードを開く 45-9
フィードオーガパドルの調整 (丈短作物) 45-9
フィードオーガパドルの取り外し (丈高作物) 45-9

潤滑とメンテナンス
潤滑間隔 55-1
グリース 55-1
代替潤滑剤と合成潤滑剤 55-1
潤滑剤の保管 55-2
潤滑剤の混合 55-2
10 時間ごと — 駆動チェーン 55-2
10 運転時間ごと — ピックアップ駆動軸 55-3
50 時間ごと — ピボットゲージホイール 55-3
50 時間ごと — ローラー圧縮装置のリフトアーム 55-4
50 時間ごと - ローラー圧縮装置のシリンダ 55-4
50 時間ごと — フィードオーガのピボットポイント 55-4
50 時間ごと — ジャッキスタンド 55-5

次のページへ

本文書は翻訳版です。 このマニュアルに掲載の全ての情報、画像、仕様は、発行時の情報に基づいています。 予告なしに変更されることがあります。

COPYRIGHT © 2020
John Deere GmbH & Co. KG Mannheim Regional Center
Zentralfunktionen
All rights reserved.

ページ

トラブルシューティング
ピックアップの操作 60-1

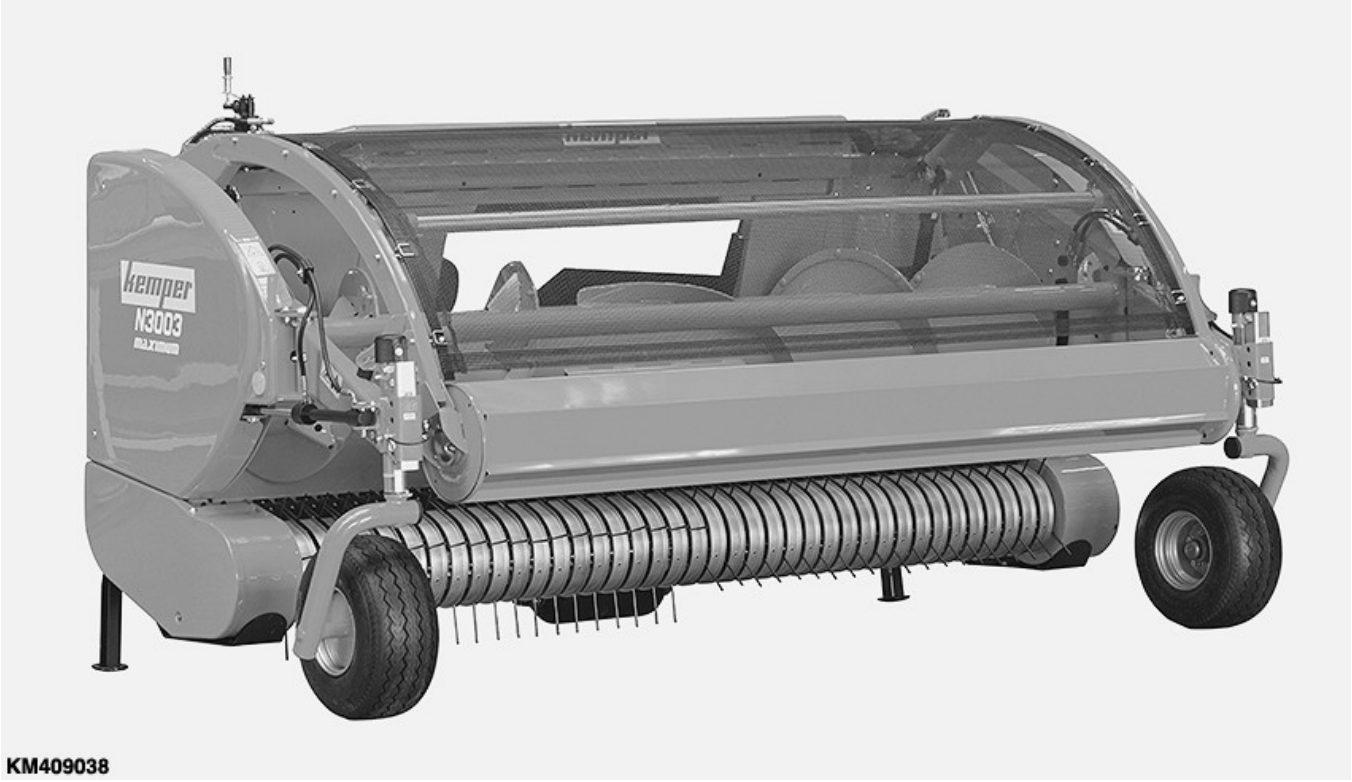
整備
メトリックボルトとねじのトルク値 65-1
駆動チェーンの調整 65-2
ローラーの取り付け方向 65-2
トラッシュネット 65-3
集中チェーン潤滑装置のオイルリザーバー 65-3
集中チェーン潤滑装置 (オプション) の潤滑油ポンプのエア抜き 65-3
集中チェーン潤滑装置 (オプション) のオイル流量の調整 65-4

保管
ピックアップの保管 70-1
ピックアツプの保管からの復帰 70-1

仕様
機械の設計寿命 75-1
N3003 ピックアップ 75-1
騒音レベル 75-1
EU 法規遵守の宣言 75-2

シリアル番号
シリアル番号 80-1
ピックアップのシリアル番号プレート 80-1
シリアル番号の記録 80-1
機械の安全の確保 80-1

識別図



KM409038—UN—21APR20

N3003 ピックアップ

KM00321,0000A54-40-21APR20-1/1

安全情報の確認

これは安全警告マークです。 機械上、またはマニュアル内にこのマークのある場所では、けがをしないように注意してください。

推奨されている注意事項と安全操作の慣行に従ってください。

T81389—UN—28JUN13

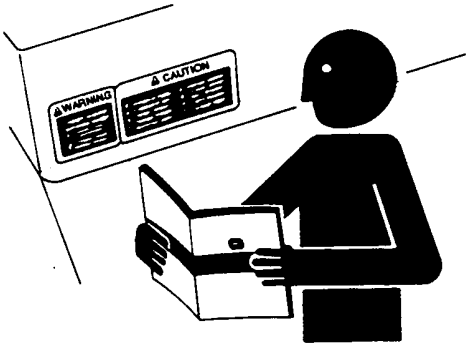
DX,ALERT-40-29SEP98-1/1

安全上の注意事項の順守

この取扱説明書および機械の安全標識に記載されている安全上の注意事項をすべて注意深く読んでください。安全標識を良好な状態に保ってください。安全標識が足りない場合は補充し、破損しているものは交換してください。装置の新しい構成部品と修理部品に、最新の安全標識が付いているか確認してください。交換用の安全標示ラベルは KEMPER 取扱店から入手できます。

機械で作業を開始する前に、適切な機械の操作方法とコントロールの使用方法を習得してください。説明なしで他の人に操作させないでください。

機械を適切な作動状態に保ってください。許可なく機械を改造すると、機能や安全性を損なう可能性があり、機械寿命に影響を及ぼすことがあります。



TS201—UN—15APR13

このマニュアルに不明な点があり、サポートが必要な場合は、KEMPER 取扱店にお問い合わせください。

KM00321,00008FC-40-02APR19-1/1

シグナルワードについて

危険：シグナルワード「危険」は、回避しなかった場合、人が死亡または重傷を負う危険な状況を示しています。

警告：シグナルワード「警告」は、回避しなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示しています。

注意：シグナルワード「注意」は、回避しなかった場合、人が軽度または中程度の傷害を負う可能性がある危険な状況を示しています。「注意」は、人が傷害を負う可能性がある事象に関連する危険な行為を警戒するためにも使用される場合があります。

シグナルワード「危険」、「警告」、「注意」は安全警告マークと共に使用されます。「危険」は最も重大な危険要素を示します。「危険」または「警告」安全標示ラベルは、特定の危険要素の近くにあります。一般注意事項は

TS187—40—20JUN12

「注意」安全標示ラベルに記載されています。「注意」はこのマニュアルに記載されている安全上の注意事項への注意も促しています。

DX,SIGNAL-40-05OCT16-1/1

道路交通規則の順守

公道を使用するときは必ず現地の道路交通規則に従ってください。

FX,ROAD-40-01MAY91-1/1

オペレータの能力

- 機械の所有者は、オペレータが信頼のおける人物であること、訓練を受けていること、操作の手順書や警告を読んでいること、機械を正しく安全に操作する方法を知っていることを確認しなければなりません。
- 年齢、身体能力、および知的能力は機械関連のけがの要因になることがあります。オペレータは、オペレータステーションやコントロールにアクセスできて、機械を適切かつ安全に操作できる知的能力および身体的能力を有する必要があります。
- 絶対に子供や訓練を受けていない人に機械を操作させないでください。機械や装置に子供を乗せないよう、オペレータ全員に指示して下さい。
- 注意散漫の場合、疲れている場合、および健康を害している場合は、絶対に機械を操作しないでください。機械の適切な操作には、最大限の注意と認識が必要です。

DX,ABILITY-40-07DEC18-1/1

アタッチメントの安全な保管

保管しているダブルタイヤホイール、かご車輪、ローダーなどのアタッチメントは倒れたり、死傷事故の原因となる危険性があります。

アタッチメントおよびインプルメントが倒れないようにしっかり固定して保管してください。　子供や人を保管場所に近づけないでください。

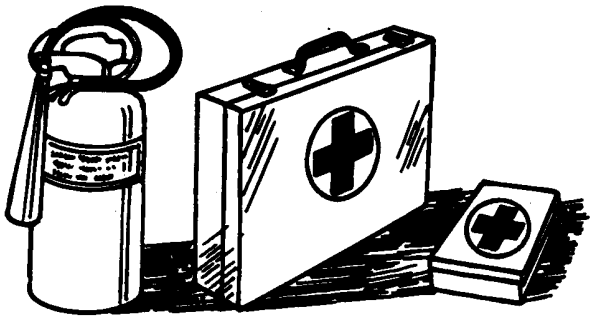
DX,STORE-40-03MAR93-1/1

緊急事態に対する準備

火災に備えてください。

救急箱と消火器を手近に置いてください。

医師、救急車サービス、病院、消防署の緊急番号を電話の近くに備えてください。



TS291—UN—15APR13

DX,FIRE2-40-03MAR93-1/1

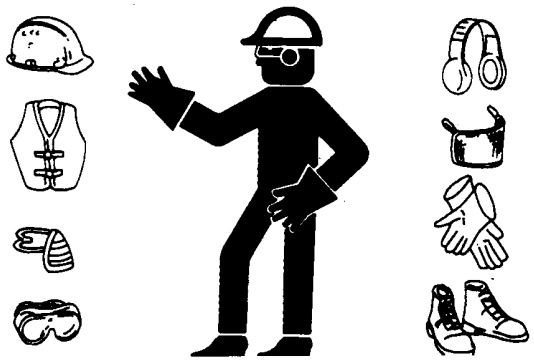
保護服の着用

ぴったりした衣類と作業に適した安全具を着用してください。

騒音に長期間さらされると、聴覚の障害や損失を引き起こすことがあります。

不快な騒音から保護するため、耳あてや耳栓などの適切な聴覚保護具を着用してください。

機械の安全な操作のために、オペレーターは細心の注意を払う必要があります。 機械の操作中にラジオや音楽用ヘッドフォンを着用しないでください。



TS206—UN—15APR13

DX,WEAR-40-27NOV12-1/1

機械の安全の点検

機械を使用する前に、必ず道路での操作および一般的操作の安全性を確認してください。

FX,READY-40-28FEB91-1/1

ガードとシールド

すべてのガードとシールドを常に所定の位置に取り付けてください。また、状態が良好で正しく取り付けられていることを確認してください。

ガードやシールドを取り外す前に、必ずドライブラインを解除し、エンジンを停止して、キー抜き取ってください。

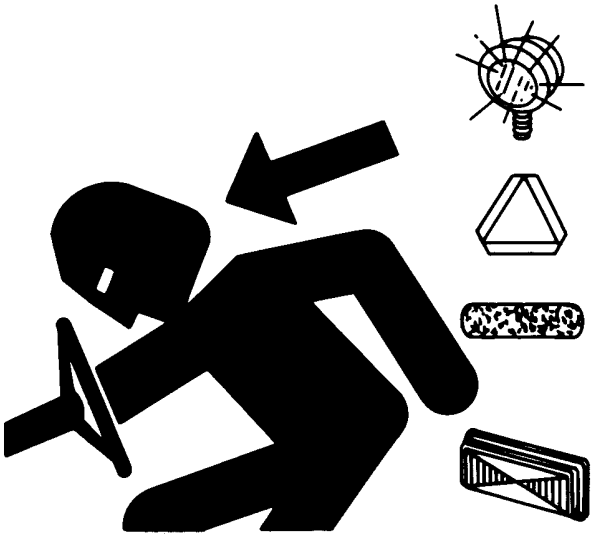
可動部から手、足、衣服を遠ざけてください。

CC,GUARDS-40-01DEC91-1/1

安全ライトと安全装置の使用

他の通行者との衝突を防止してください。装置または牽引装置付きで低速走行するトラクター、および自走式機械は、公道では特に危険です。後方から近づいてくる車などに常に注意してください。特に、方向転換時には厳重な注意が必要です。ターンシグナルを使用して安全な交通条件に備えてください。

現地の法規制に従って、ヘッドライト、ハザード警告灯、ターンシグナル、その他の安全装置を使用してください。安全装置を良好な状態に保ってください。不足または損傷しているアイテムは交換してください。



TS951—UN—12APR90

KM00321,00008FD-40-02APR19-1/1

ピックアップの安全な操作

機械への巻き込みによる死傷事故を回避するための注意事項：

ピックアップの作動中は、機械に作物をフィードしようとしたり、フィードエリアの詰まりを取り除こうとしないでください。ピックアップは手でつかんだ作物を放すよりも速く作物をフィードします。

ドライブシャフトの連結を解除し、ハーベスターのエンジンを OFF にしてください。

機械の作動中は常にピックアップから離れてください。

CC,630PU 002665-40-11APR95-1/1

回転している駆動系の回避

回転しているドライブラインに巻き込まれると、深刻な人身事故を引き起こす可能性があります。

すべてのシールドは常時所定の位置に取り付けてください。 回転するシールドが自由に動くようにしてください。

ぴったりした衣類を着用してください。 エンジンや機械駆動装置の調整、接続、その他あらゆる種類の整備は、エンジンを停止し、回転部と駆動系がすべて停止したことを確認してから行ってください。

TS1644—UN—22AUG95

DX,ROTATING-40-27NOV12-1/1

安全メンテナンスの実行

作業を開始する前に、整備の手順を確認してください。作業域を清潔で乾いた状態に保ってください。

機械が動いている間は、絶対に潤滑、整備、調整を行わないでください。動力で駆動される部品から手、足、衣服を遠ざけてください。すべての電源および操作スイッチをオフにして圧力を下げてください。装置を地面に降ろします。エンジンを停止します。キーを抜きます。機械が冷めるまで待ちます。

整備作業を行うために持ち上げる必要のある機械部品はしっかりと支持してください。

すべての部品を良好な状態、および正しく取り付けられた状態に保ってください。破損は速やかに修理してください。摩耗または破損している部品は交換してください。堆積したグリース、オイル、破片などは取り除いてください。

自走式装置では、電気システムの調整や機械の溶接作業の前に、バッテリーのアースケーブル (-) の接続を外してください。

牽引式装置では、電気システム部品の整備や機械の溶接作業の前に、トラクターからワイヤハーネスの接続を外してください。

高所での清掃や作業中に落下して大けがをすることがあります。各位置に容易に到達できるよう、はしごや作業台を使用してください。安全でしっかりした足場と手すりを使用してください。

TS218—UN—23AUG88

DX,SERV-40-28FEB17-1/1

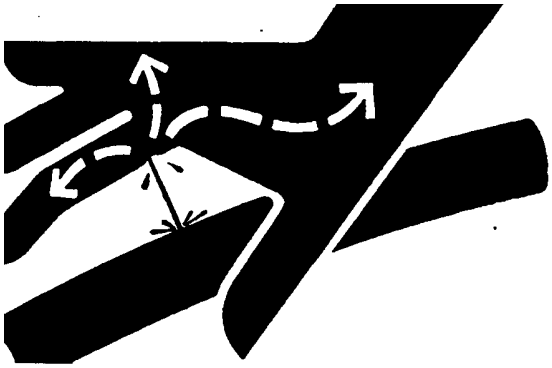
高圧流体の回避

圧力のかかっているオイルがもれると、皮膚に侵入するだけの十分な圧力があるため、大けがをするおそれがあります。

油圧ラインや他のラインの接続を外す前に圧力を解放して、危険を回避してください。圧力をかける前にすべての接続を点検し、締め付けてください。

ピン穴からもれている作動油は検出しにくいので、ボール紙で漏れがないか探してください。手や身体を高圧流体から保護してください。

事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚にかかった液体は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。このような外傷に慣れていない医師は、専門医療機関に問い合わせてください。



X9811—UN—23AUG88

KM00321,00008FE-40-02APR19-1/1

タイヤの安全な整備

注意： タイヤやリム部品の破裂は死傷事故の原因となることがあります。

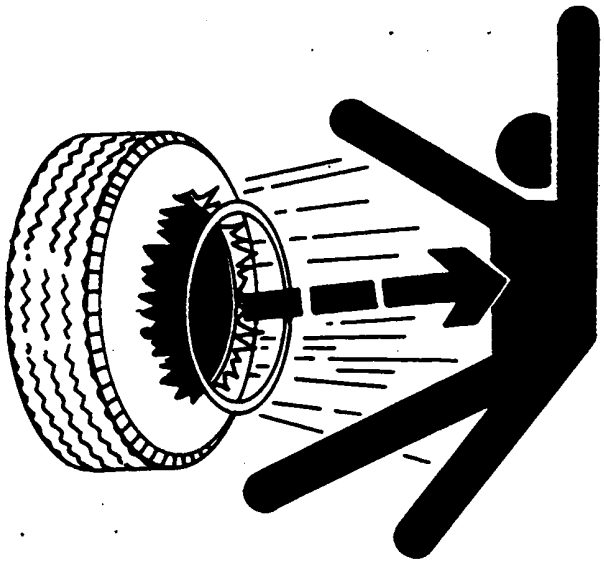
適切な装置と十分な経験がない場合は、タイヤの取り付けを行わないでください。

常に正しいタイヤ空気圧を維持してください。 推奨タイヤ空気圧を超えてタイヤに空気を入れないでください。

ホイールおよびタイヤアセンブリを溶接、加熱しないでください。 熱により空気圧が高くなり、タイヤが破裂することがあります。 溶接すると、ホイールが構造的に弱くなったり、変形することがあります。

タイヤに空気を入れるときは、クリップオン式のチャックと、タイヤアセンブリの前や上ではなく片側に立つことができる程度に十分長い延長ホースを使用してください。必要に応じて安全ケージを使用してください。

ホイールを点検し、圧不足、切れ、泡、リムの損傷、ラグボルトとナットの不足がないかどうかを確認します。



TS211—UN—15APR13

DX,RIM1-40-27OCT08-1/1

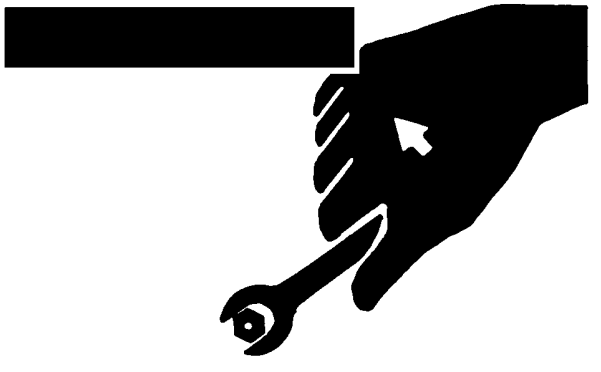
適切な工具の使用

作業に適した工具を使用してください。間に合わせの工具や手順は安全上の問題を生じる可能性があります。

電動工具はねじ部品や留め具を緩める場合にのみ使用してください。

装置を緩めたり締めたりする場合は、適切なサイズの工具を使用してください。メートル法の留め具に、ヤードポンド法の工具を使用しないでください。レンチの滑りによるけがに注意してください。

KEMPER の仕様に適合する整備部品のみ使用してください。



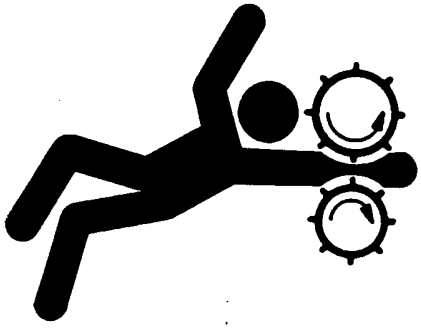
TS779—UN—08NOV89

KM00321,00008FF-40-02APR19-1/1

作業機の安全な整備

長い髪の毛は頭の後ろで束ねてください。 機械工具や可動部の近くで作業するときは、ネクタイ、スカーフ、ゆったりした衣類、ネックレスを着用しないでください。 これらのものが引っかかると、大けがをする危険性があります。

電気的短絡を起こしたり、可動部に絡んだりしないように、指輪などの装身具類を外してください。



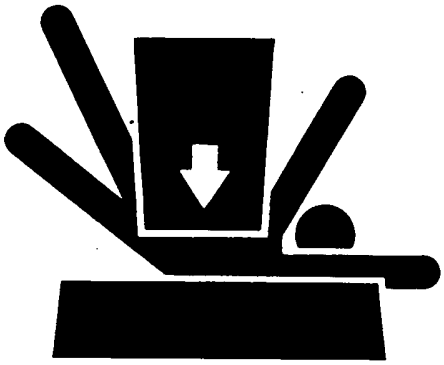
TS228—UN—23AUG88

DX,LOOSE-40-27NOV12-1/1

機械の適切な支持

機械に作業をする前には必ずアタッチメントやインプルメントを地面まで下降させてください。 作業で機械やアタッチメントを持ち上げておく必要がある場合は、これらをしっかりと支持してください。 油圧で支持された機器を上昇位置に保っておくと、少しずつ下がったり、漏れにより下降することがあります。

軽量コンクリートブロック、中空のタイル、支柱などで機械を支えないでください。これらは連続負荷によりくずれる可能性があります。 ジャッキのみで支持されている機械の下では作業をしないでください。 このマニュアルに記載の推奨手順に従ってください。



TS229—UN—23AUG88

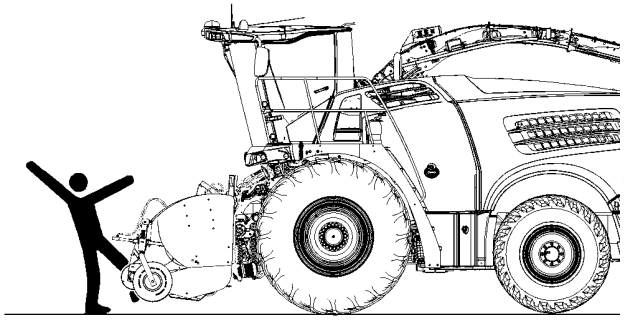
機械でインプルメントやアタッチメントを使用する際は、インプルメントやアタッチメントのオペレータマニュアルに記載されている安全上の注意事項に常に従ってください。

DX,LOWER-40-24FEB00-1/1

ピックアップに近づかない

操作中はピックアップの可動部に近づかないでください。

ピックアップを整備する前に、必ずピックアップドライブを解除し、エンジンを停止して、フォーレージハーベスターのキースイッチからキーを抜いてください。



ZX1050675

ZX1050675—UN—06DEC13

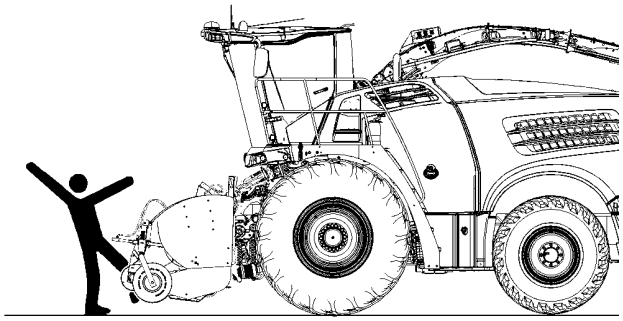
KM00321,000026A-40-07FEB14-1/1

ヘッダーを取り付けた状態での輸送

フォーレージハーベスターを公道で運転する前に、ヘッダーを上昇させ、完全に上昇した位置で固定してください。ただし、オペレータの道路に対する視界を妨げてはなりません。

クロップデフレクタ装備のヘッダーの場合は、公道で運転する前に必ずデフレクタを輸送位置に保管します。

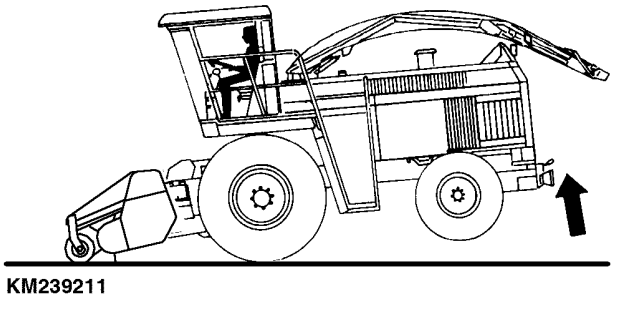
ローラー圧縮装置装備のヘッダーの場合は、公道で運転する前に必ずローラー圧縮装置を輸送位置に保管します。



KM00321,000026B-40-20JAN14-1/1

安全な地面接触のためのバラスト

フォーレージハーベスターの操作、ステアリング、ブレーキ性能は、機械の重心を変えるアタッチメントによりかなりの影響を受ける可能性があります。安全な接地接触を維持するには、必要に応じてハーベスターの後端にバラストを取り付ける必要があります。最大許容軸荷重および総重量を順守してください。



KM00321,0000903-40-02APR19-1/1

溶接または加熱作業前の塗料の除去

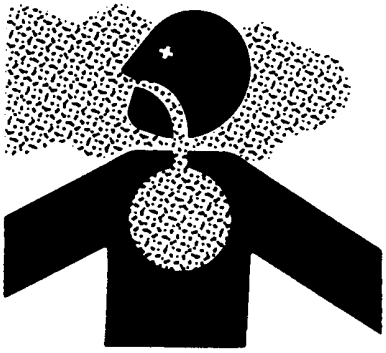
有毒ガスや粉塵が出ないようにしてください。

溶接、はんだ付け、またはトーチの使用によって塗料が加熱されると、有害なガスが発生する可能性があります。

加熱前に次のように塗料を除去してください。

- 加熱の影響を受ける領域から最低 100 mm (4 in)、塗料を除去してください。 塗料を除去できない場合は、適切なマスクを着用してから加熱や溶接を行ってください。
- 塗料を研摩する場合は、粉塵を吸い込まないようにしてください。 適切なマスクを着用してください。
- 溶剤や塗料除去剤を使用した場合は、溶接の前にせっけんと水で除去剤を洗い流してください。 溶剤または塗料除去剤の容器や、その他の引火性材料は作業域から遠ざけてください。 溶接または加熱前に最低 15 分間有毒ガスを消散させてください。

溶接を行う作業域で塩素系溶剤を使用しないでください。



有毒なガスや粉塵を消散させるために、すべての作業は十分に換気された場所で行ってください。

塗料や溶剤は適切に処分してください。

DX,PAINT-40-24JUL02-1/1

加圧流体ライン近くでの加熱の回避

加圧流体ラインの近くで加熱を行なうと、引火性の噴霧が生成され、自身や近くの人に大やけどをさせる可能性があります。 加圧流体ラインやその他の引火性材料の近くで溶接、はんだ付け、またはトーチ使用による加熱を行わないでください。 作業域を越えて熱が伝わると、加圧ラインが誤って破裂する恐れがあります。

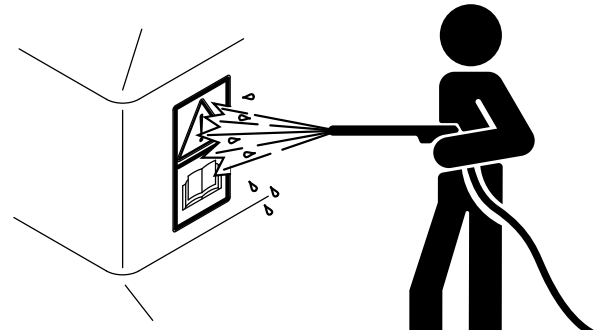
TS953—UN—15MAY90

DX,TORCH-40-10DEC04-1/1

安全銘板への高圧噴射の回避

水噴射によって安全ステッカーが剥がれたり、破損する可能性があります。安全ステッカーに向けて水噴射を行わないでください。

安全銘板が足りない場合はすぐに補充し、状態の悪いものは交換してください。交換用の安全銘板は KEMPER 販売店から入手できます。



CC1021545

CC1021545—UN—23APR02

KM00321,0000900-40-02APR19-1/1

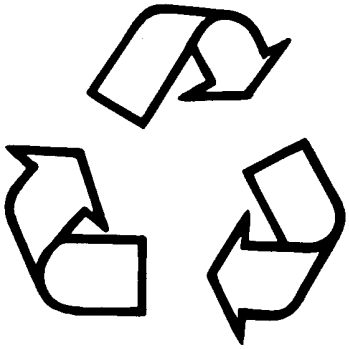
廃棄物の適切な処分

廃棄物処理を不適切に実行すると、環境や生態系を損なうおそれがあります。KEMPER 装置で使用される潜在的に有害な廃棄物には、オイル、燃料、クーラント、ブレーキフルード、フィルタ、バッテリーなどがあります。

液体を抜き取るときは漏れない容器を使用してください。他の人が誤って飲用するおそれのある食品容器や飲料容器を使用しないでください。

排水を地面、排水溝、またどのような水源にも注がないでください。

空気中に流出するエアコンの冷媒は地球大気を汚染する可能性があります。政府規制により、認定されたエアコンサービスセンターがエアコンの冷媒を回収し、再利用することが義務付けられている可能性があります。



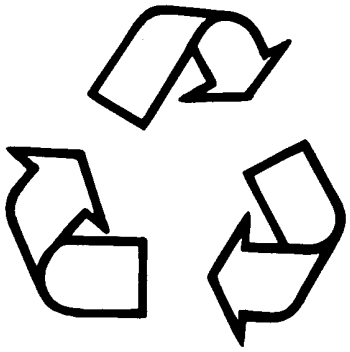
TS1133—UN—15APR13

KM00321,0000901-40-02APR19-1/1

廃棄：フルードや部品の適切なリサイクルと廃棄

本機や部品の廃棄時は、安全と環境の管理対策を考慮する必要があります。これらの対策には、以下が含まれます：

- 物や機材の取り外しまたは取り扱い中は、衣服、手袋、フェイスシールド、メガネなど、適切な工具や個人用保護具を使用してください。
- 特殊部品に関する指示に従ってください。
- サスペンション式機械要素を下げる、スプリングを緩める、バッテリーやその他の電源の接続を外す、油圧部品、アキュムレータ、他の同様のシステムの圧力を解放するなどにより、蓄積されているエネルギーを解放してください。
- 肥料や殺虫剤など、農薬が残っている可能性がある部品には可能な限り触れないでください。これらの部品は適切に取り扱って廃棄してください。
- エンジン、燃料タンク、ラジエータ、油圧シリンダ、リザーバー、ラインから慎重に抜き取ってからこれらの部品をリサイクルしてください。フルードを抜き取るときは漏れない容器を使用してください。食品や飲料水用の容器を使用しないでください。
- 使用済みフルードを地面、排水管、水源に流さないでください。
- 使用済みフルードの取り扱いや廃棄に関する国や地方自治体の法律、規則、指示に従ってください。(使用済みフルードの例：オイル、燃料、クーラント、ブレーキフルード)、フィルタ、バッテリー、その他の物質や部品。専用の焼却炉以外で可燃性の液体や部品を燃やすことは法律により禁止されている場合があり、有害ガスや灰にさらされる可能性があります。
- エアコンシステムの整備や廃棄は適切に実施してください。国の規則で、エアコンの冷媒の回収とリサイクルを認定サービスセンターで行うことが要求されている場合があます。エアコンの冷媒を大気中に放出した場合、大気中のオゾン層を破壊する可能性があります。
- 部分的に、または完全にリサイクルできる可能性があるタイヤ、金属、プラスチック、ガラス、ゴム、電子部品のリサイクルオプションを評価してください。
- 廃棄物の適切なリサイクルや廃棄方法については、地域の環境センターやリサイクルセンター、またはKEMPER 販売店にお問い合わせください。



TS1133—UN—15APR13

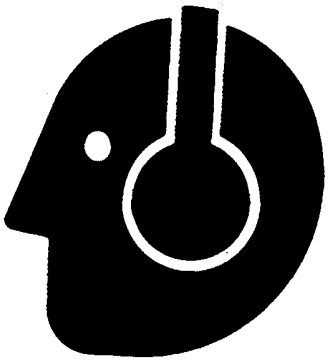
KM00321,000092B-40-13APR19-1/1

騒音対策

機械構成、機械の状態とメンテナンスレベル、地面、操作環境、デューティサイクル、環境騒音、およびアタッチメントなど、騒音レベル範囲に影響を与えるさまざまな変動要素があります。

大きな騒音への暴露は、聴力の障害や損失を引き起こす可能性があります。

必ず聴覚保護具を着用してください。好ましくない不快な騒音から保護するため、耳あてや耳栓などの適切な聴覚保護具を着用してください。



TS207—UN—23AUG88

DX,NOISE-40-03OCT17-1/1

絵入りの安全標識

この機械のいくつかの重要な場所には、潜在的な危険を知らせるために安全標示ラベルが貼られています。危険要素は、警告用三角ラベルの絵で示されます。隣接する絵はけがを防ぐための情報を提供します。これらの安全標識、機械上の安全標識の位置、および簡単な説明を以下に示します。

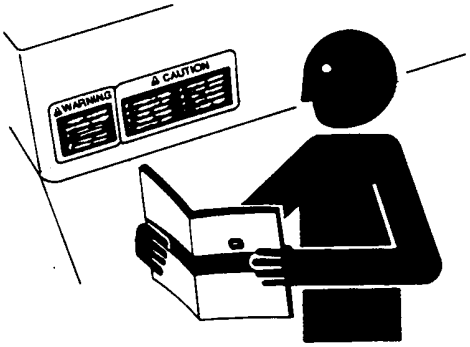
TS231—40—20JUN12

FX,WBZ-40-19NOV91-1/1

安全標示ラベルの交換

安全標示ラベルが足りない場合は補充し、状態の悪いラベルは交換してください。 適切な安全標示ラベルの位置については、このオペレータマニュアルを参照してください。

販売業者から供給される部品については、このオペレータマニュアルに転記されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。

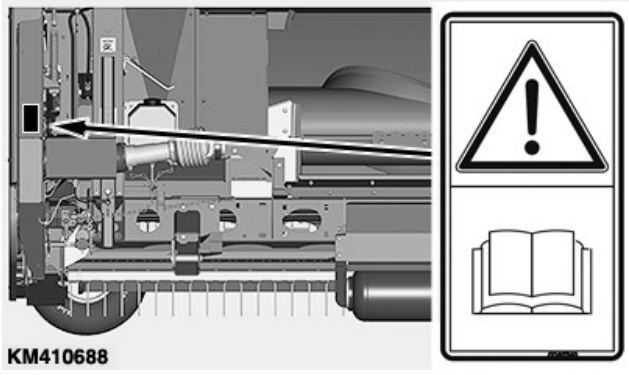


TS201—UN—15APR13

DX,SIGNS-40-27NOV12-1/1

取扱説明書

この取扱説明書には機械を安全に運転する上で必要なすべての情報が記載されています。すべての安全規則に慎重に従って事故を防いでください。

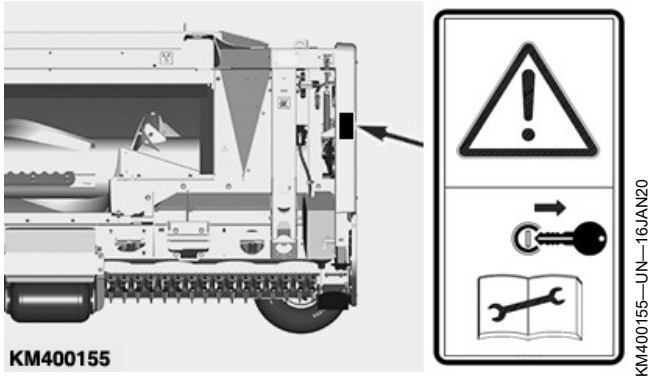


KM410688—UN—30APR20

KM00321,0000A63-40-30APR20-1/1

修理とメンテナンス

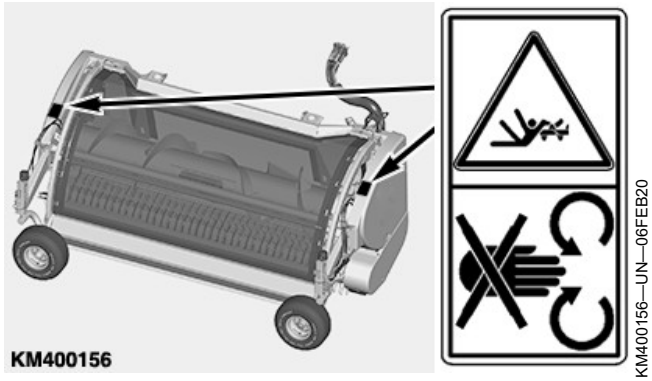
調整、修理、メンテナンスを行う前に、フォーレージハーベスターのエンジンを停止し、イグニッションキーを抜いてください。



KM00321,00009CC-40-16JAN20-1/1

ピックアップ

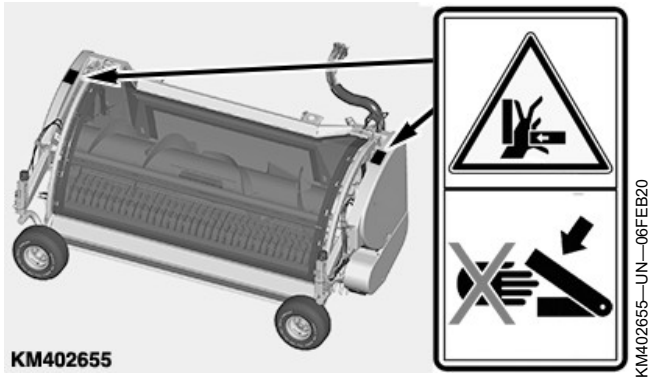
危険 - ヘッダーから離れてください。ヘッダーの整備または詰まりの除去を行う前に、ヘッダー駆動装置の接続を解除し、エンジンを停止してイグニッションキーを抜いてください。オーガの作動中は、オーガに人や衣類を近づけないでください。



KM00321,0000A55-40-21APR20-1/1

高さ調整式圧縮装置

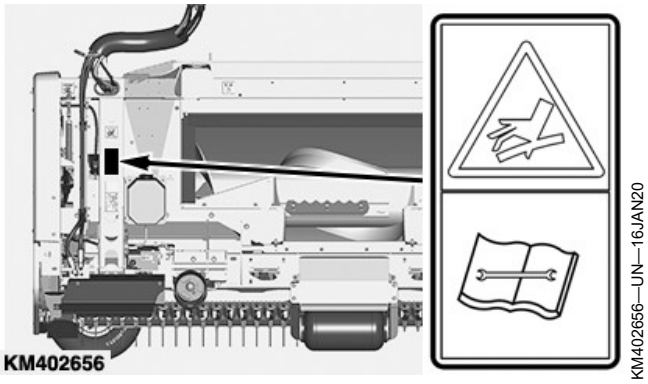
圧縮装置が動く可能性がある限り、絶対に危険な粉砕部に近づかないでください。



KM00321,00009CE-40-16JAN20-1/1

油圧ライン

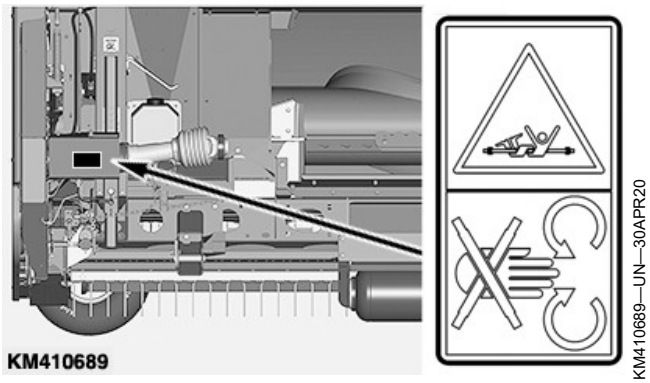
油圧ラインや他のラインの接続を外す前に圧力を解放して、危険を回避してください。



KM00321,00009CF-40-16JAN20-1/1

回転している駆動軸に近づかない

回転している駆動軸に巻き込まれると、大けがや死亡事故が発生する可能性があります。駆動シャフトのシールドを所定の位置に常時取り付けてください。

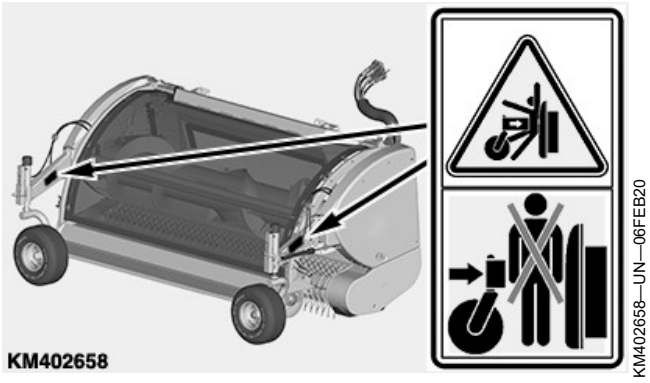


KM00321,0000A64-40-30APR20-1/1

ピックアップホイール

ピックアップとホイール間での挟み込み防止のため、機械の調整や整備を行う前にタングを連結してください。

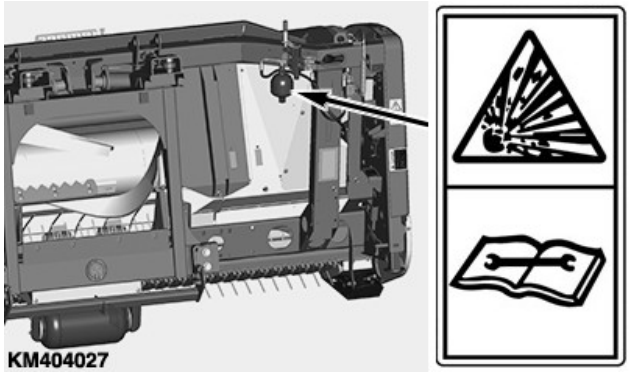
ホイールを揺らす前に機械から人を遠ざけてください。コントロールはシートに座って操作してください。



KM00321,00009D1-40-16JAN20-1/1

圧力アキュムレータ – ウインドローコンプレッサロールのサポート圧力制御

圧力がかかっている作動油や気体によるけがを防止してください。

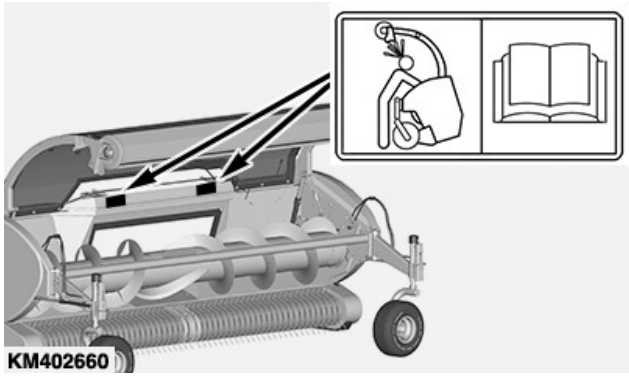


KM00321,0000A56-40-21APR20-1/1

ローラー圧縮装置 - レーキの先端

危険 - 詰まりを除去したり、上昇させたローラー圧縮装置の下で作業したりするときは、十分注意してください。レーキの先端により大けがをする可能性があります。

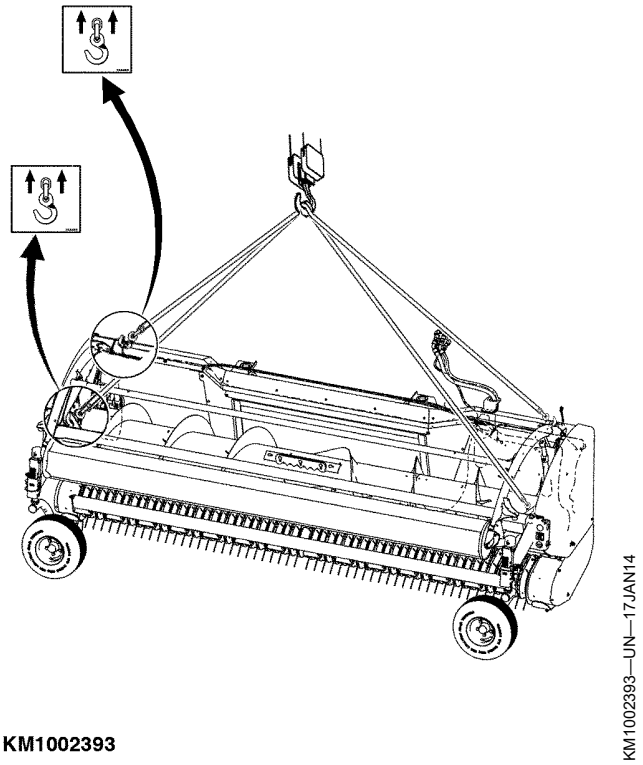
詰まりを除去する前に、必ずローラー圧縮装置とピックアップ全体を完全に上昇させてください。



KM00321,00009D3-40-24JAN20-1/1

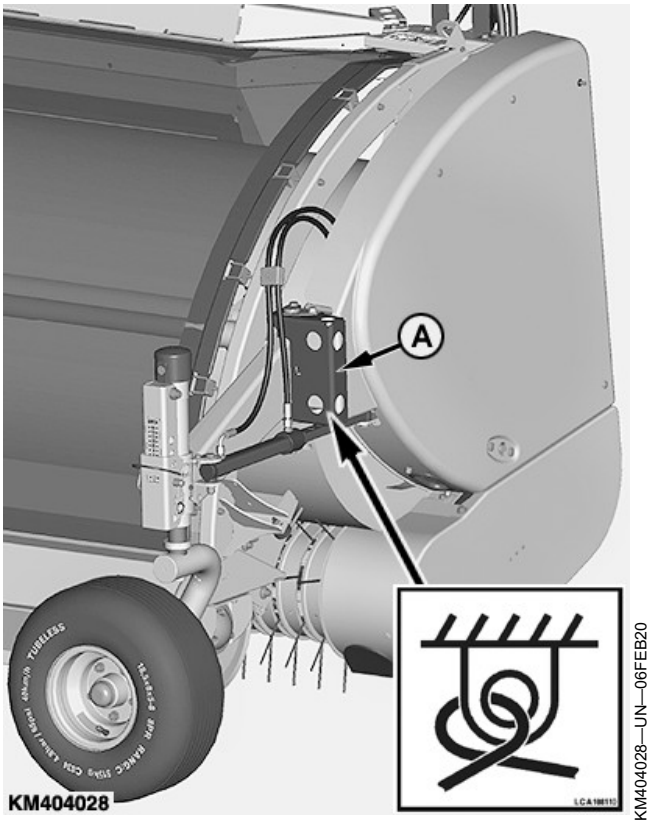
ウィンドローピックアップの吊り上げ点

ピックアップを自走式フォーレージハーベスターに取り付けずに動かす必要がある場合は、図のように吊り上げ点を使用してください。

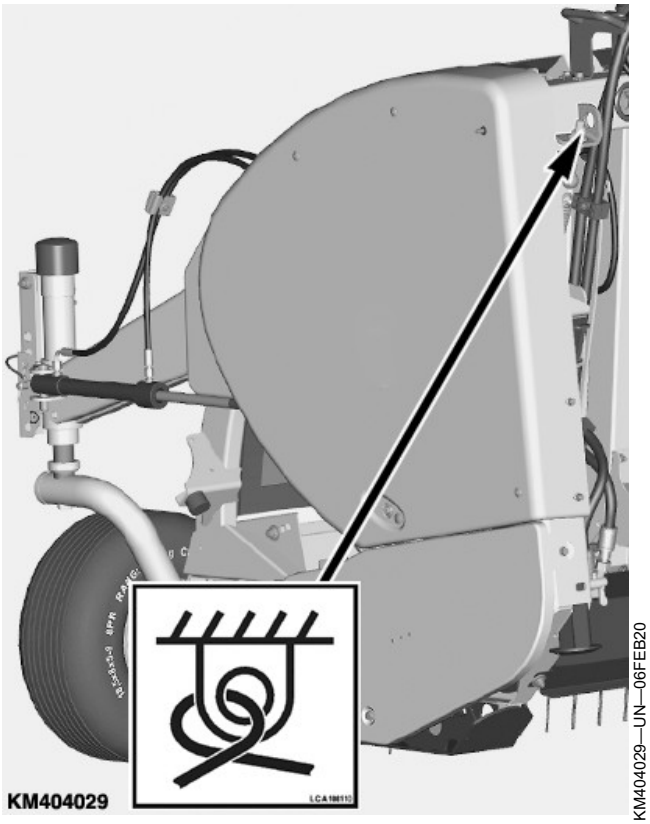


KM00321,0000268-40-07FEB14-1/1

運搬のためのピックアップの固定 (ラッシングポイント)



固定点 *(フロント)*



固定点 *(リア)*

A : **ブラケット**

トラックまたはトレーラーでの運搬中は、機械を固定するように用意されているフレームの穴を使用してください (図参照)。

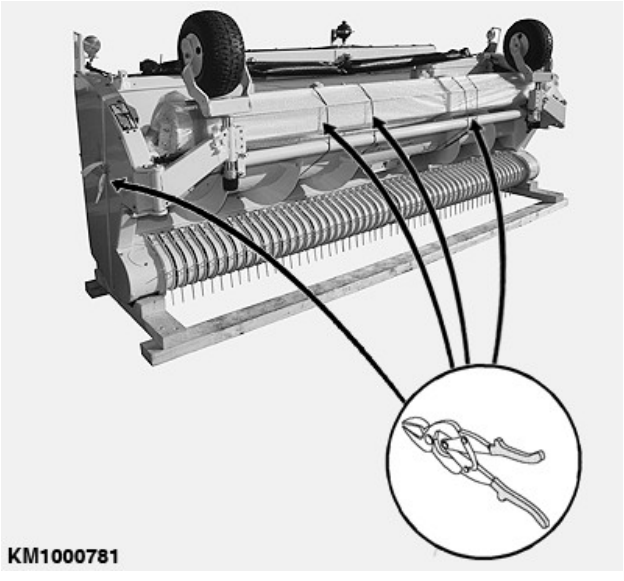
注記： 運搬後、ブラケット *(A)* をピックアップから取り外してください。

KM00321,00009F1-40-06FEB20-1/1

開梱と最初のステップ

梱包材を取り除いた後すぐに、輸送中に発生した損傷がないか点検してください。

ピックアップと一緒に納品された説明書に従ってピックアップを完成させ、すべてのオプションを組み立てます。



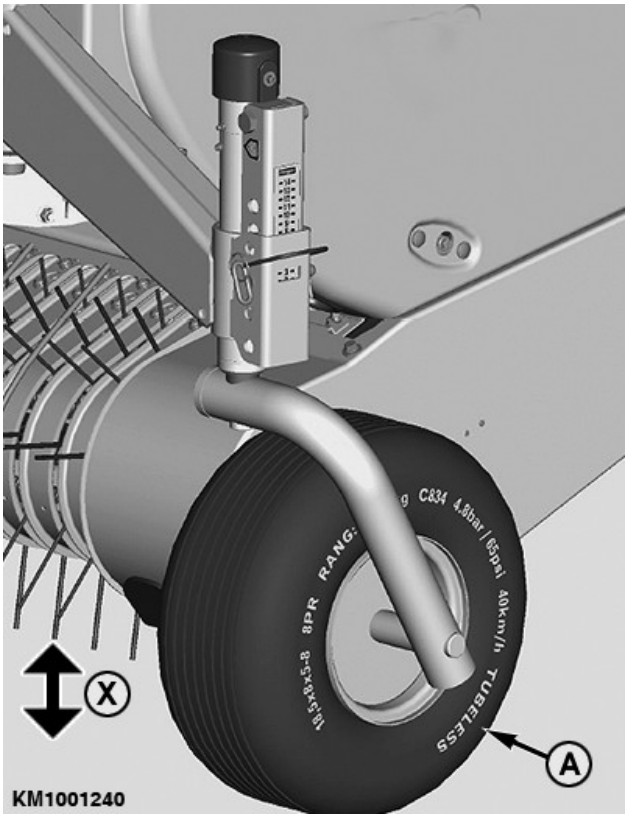
KM00321,000010E-40-03FEB09-1/1

ゲージホイール高さの設定

シリンダの歯が地上 X = 50 mm (2 in) の位置になるようにピックアップを調整します。

正しい調整については、「ピックアップの操作」セクションの「ゲージホイール高さの調整」を参照してください。

A：**ゲージホイール**　　**X**：**50 mm (2 in)**



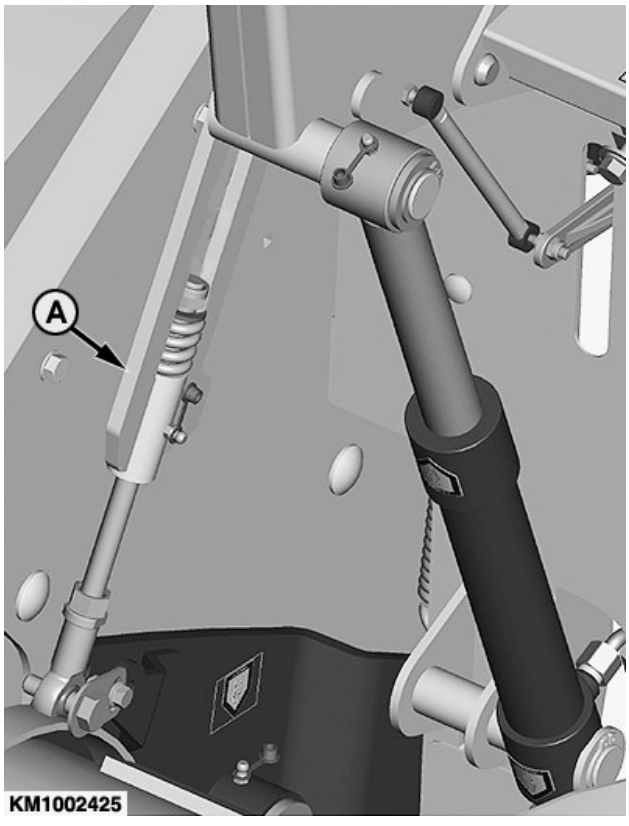
KM00321,0000373-40-15OCT10-1/1

自動オーガリフトの調整の点検

すべてのオプションを正しく組み立てた後、両側のオーガリフト装置 (A) を点検します。

正しい調整については、「ピックアップの操作」セクションの「自動オーガリフトの調整」を参照してください。

A：**オーガリフト装置**



KM00321,0000A03-40-11FEB20-1/1

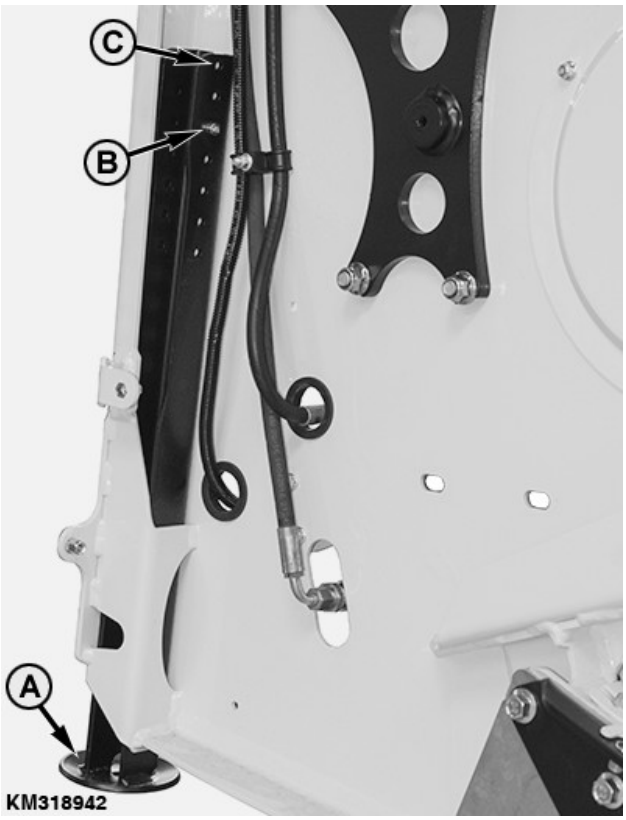
ジャッキスタンド高さの調整

フォーレージハーベスターに初めてピックアップを取り付けるときは、ハーベスターのタイヤのサイズに応じてジャッキスタンド (A) の高さを調整する必要があります。それには、左右にある外部シールドを外す必要があります。

複数のボルト (B) 位置があります。

- 工場出荷時、ボルト (B) は 3 番目の穴に取り付けられています。
- フォーレージハーベスターに 42 インチのタイヤを装備している場合は、ボルト (B) を上部穴 (C) に取り付けます。
- その他のタイヤ構成の場合は、ボルトを外します。ピックアップを適切な高さまで降ろし、適切な穴にボルト (B) を再度取り付けます。
- 左右のシールドを再度取り付けます。

A：**ジャッキスタンド**
B：**ねじ**
C：**上部穴**



KM318942—UN—19JUN17

KM00321,0000672-40-23JUN17-1/1

ピックアップの取り付け

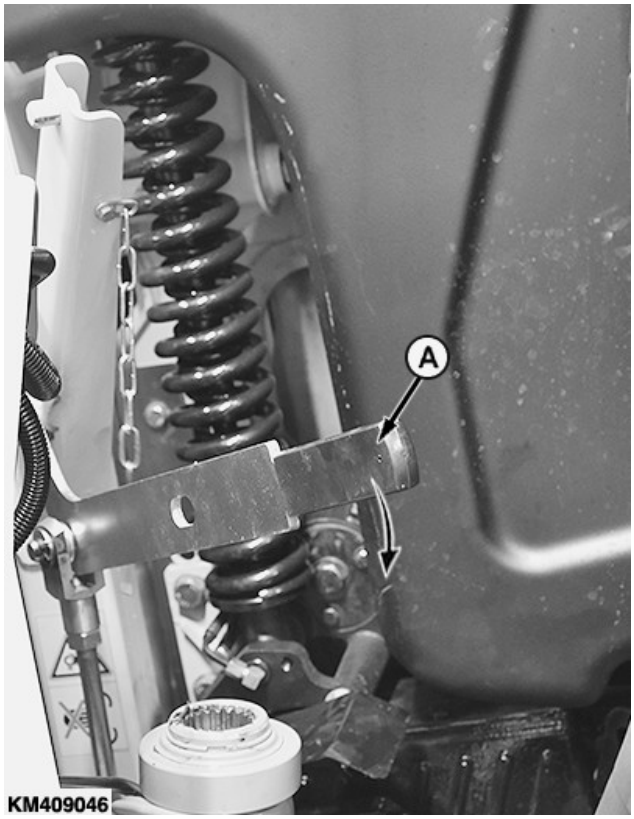
重要： **ピックアップを取り付ける前に、正しい準備や機械への適応についてフォーレージハーベスターの取扱説明書を参照してください。**

注記： ピックアップは平らな地面上で取り付ける必要があります。

ピックアップを次のように取り付けます：

1. フォーレージハーベスターのカムロックレバーを開きます。

A：**カムロックレバー**



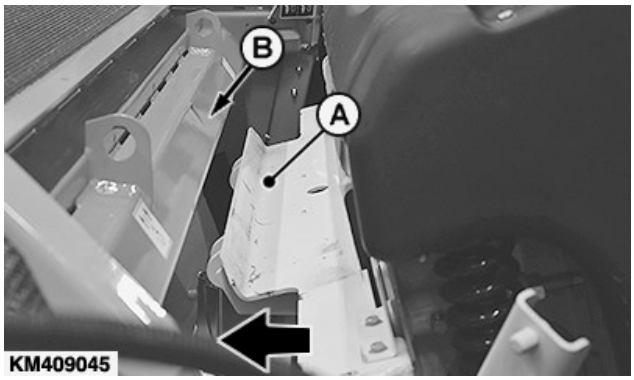
KM409046—UN—24APR20

次のページへ

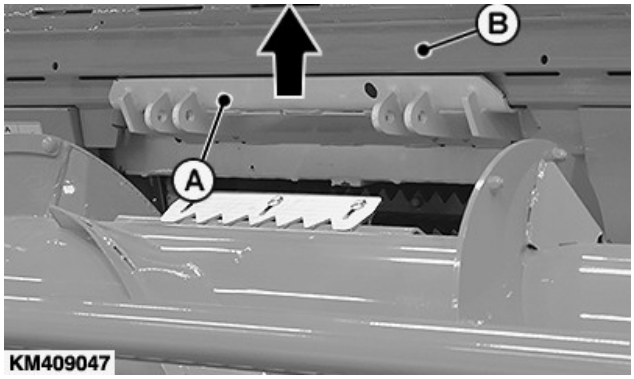
KM00321,0000A61-40-30APR20-1/7

2. サスペンションレール (A) がピックアップのフレームチューブ (B) の下になるまで、カッターヘッドアセンブリを下げます。
3. 連結位置に達するまで、フォーレージハーベスターをゆっくりと前方へ運転します。
4. ピックアップを上げます。

A : **サスペンションレール**　　**B** : **フレームチューブ**



KM409045—UN—24APR20



KM409047—UN—24APR20

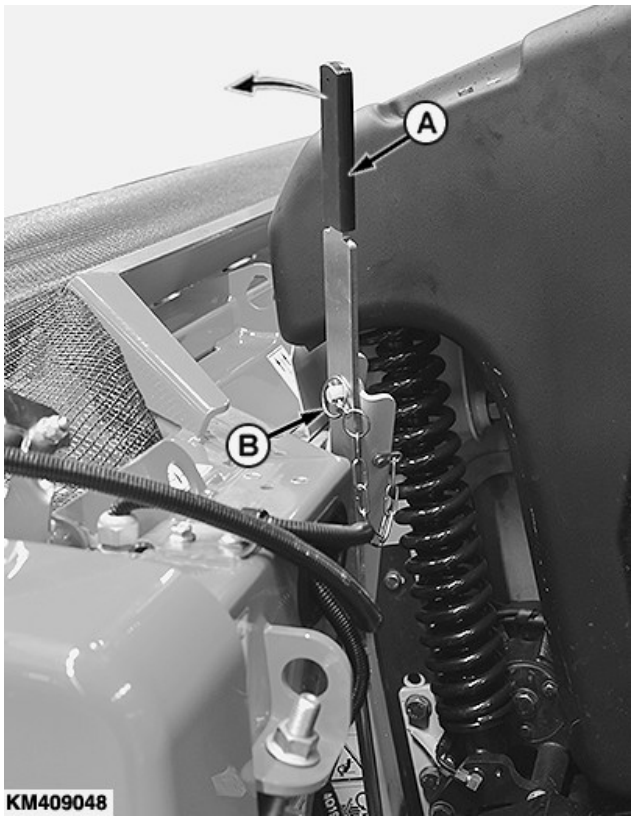
次のページへ

KM00321,0000A61-40-30APR20-2/7

5. フォーレージハーベスターのカムロックレバー (A) を閉めて、クイックロックピン (B) で固定します。

重要： 止め爪 (C) が完全に閉まっていることを確認します。

A：カムロックレバー
B：クイックロックピン
C：止め爪



KM409048—UN—24APR20

KM409049—UN—24APR20

次のページへ

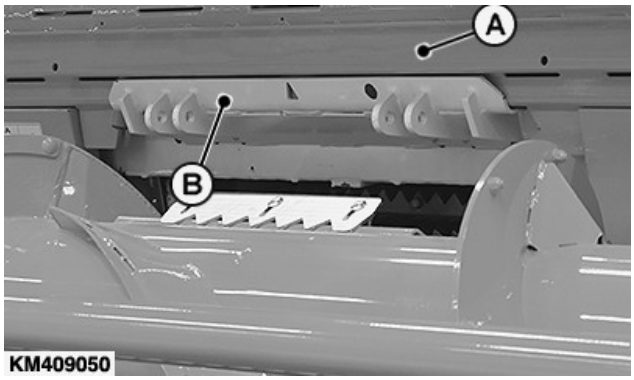
KM00321,0000A61-40-30APR20-3/7

6. **フォーレージハーベスターからの落下防止のためのピックアップの固定**：

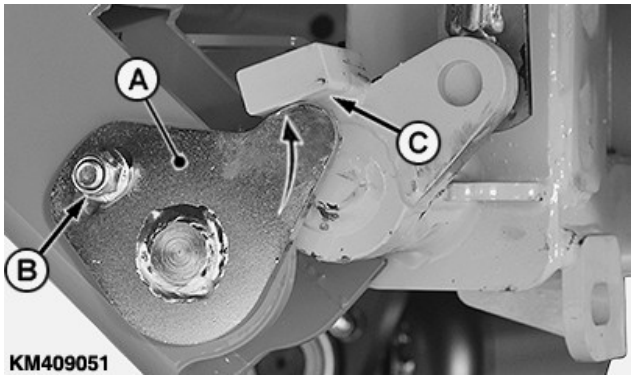
   フォーレージハーベスターのヒッチレール (B) からピックアップ (A) が飛び出さないように次の手順を実行します：

   - ナット (B) を緩めます。
   - プレート (A) が止め爪 (C) の下に静止するまで、プレート (A) を矢印の方向に回します。
   - ナット (B) を締め付けます。

A：**ピックアップ**
B：**ピックアップレール**
C：**止め爪**



KM409050—UN—24APR20

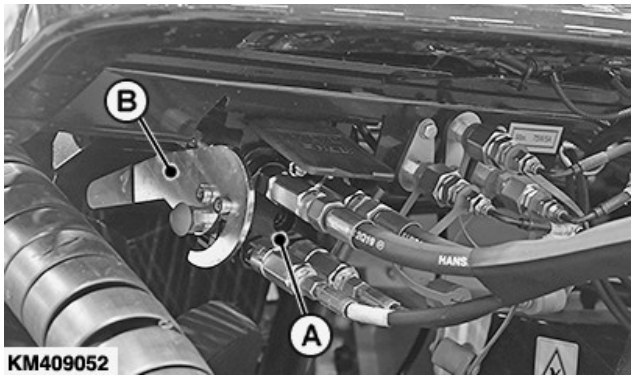


KM409051—UN—24APR20

KM00321,0000A61-40-30APR20-4/7

7. マルチカプラー (A) をフォーレージハーベスターの右側に接続し、ハンドル (B) を閉じます。
8. ワイヤハーネス (C) をフォーレージハーベスターの左側に接続します。

A：**マルチカプラー**
B：**ハンドル**
C：**ワイヤハーネス**



KM409052—UN—24APR20

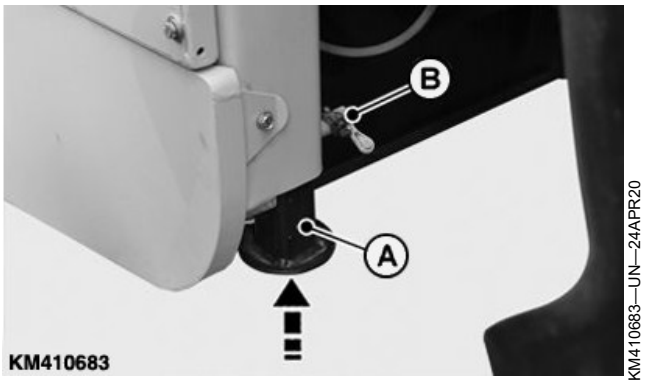
KM410682—UN—24APR20

次のページへ

KM00321,0000A61-40-30APR20-5/7

9. 左右のジャッキスタンド (I) を上げ、ばね式ピン (A) で最高位置に固定します。

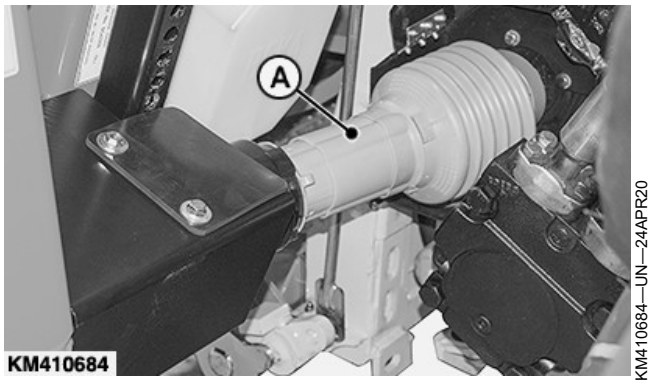
A：**ジャッキスタンド**　　**B**：**ピン**



KM00321,0000A61-40-30APR20-6/7

10. 駆動軸 (A) をフォーレージハーベスターに接続します。

A：**駆動軸**



KM00321,0000A61-40-30APR20-7/7

スクレーパの調整

フォーレージハーベスターに初めてピックアップを取り付けるときは、オーガフライトとスクレーパのクリアランスを調整する必要があります。

次の手順に従います：

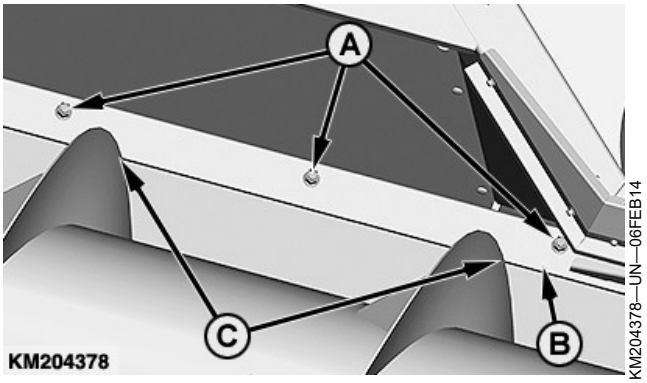
1. ナット (A) を緩めて外します。
2. スクレーパ (B) を前方に動かし、フライト (C) とスクレーパ (B) の間の指定されている間隔に調整します。

仕様

フライトからスクレーパまで：隙間. . . . . 0 ~ 2 mm (0 ~ 0.08 in)

3. ナット (A) を再度締め付けます。
4. 手でオーガを回し、自由に回転することを確認します。

重要： **スクレーパはボルトの頭を下向きにして取り付ける必要があります。**



A：**ナット**　　**C**：**フライト**
B：**スクレーパー**

スクレーパがオーガに対して常に平行であることを確認してください。

KM00321,0000673-40-23JUN17-1/1

ピックアップの取り外し

重要： ピックアップを取り外す前に、ピックアップの油圧機能の圧力がすべて解放されていることを確認してください。

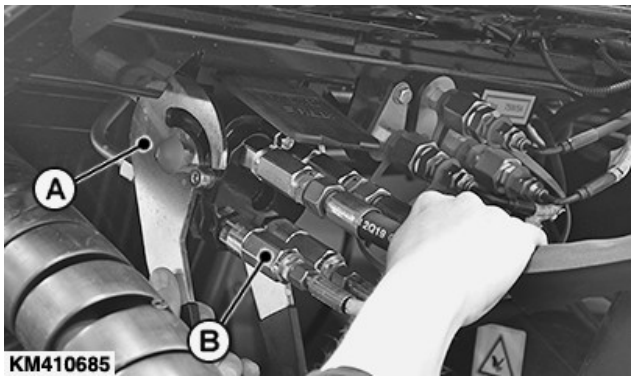
下記の手順に従います：

1. ピックアップを地面まで下げます。

重要： 後で装置を機械に再度取り付けることができる高さにピックアップを保持してください。絶対に低すぎる高さにしないでください。

2. エンジンを止め、キースイッチからキーを抜いて駐車ブレーキをかけます。
3. ハンドル (A) のラッチを解除して、マルチカプラー (B) をフォーレージハーベスターから外します。
4. フォーレージハーベスターからワイヤハーネス (C) の接続を外します。

A：**ハンドル**　　**B**：**マルチカプラー**



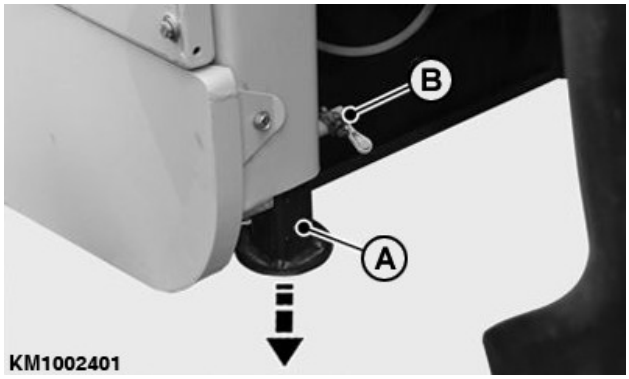
KM410685—UN—24APR20

KM410682—UN—24APR20

KM00321,0000A62-40-24APR20-1/5

5. 左右のジャッキスタンド (A) を下ろし、適切な高さに固定します。ばね式ピン (B) を引き出して、ジャッキスタンド (A) が適切な高さにあるときに挿入します。

A：**ジャッキスタンド**　　**B**：**ピン**

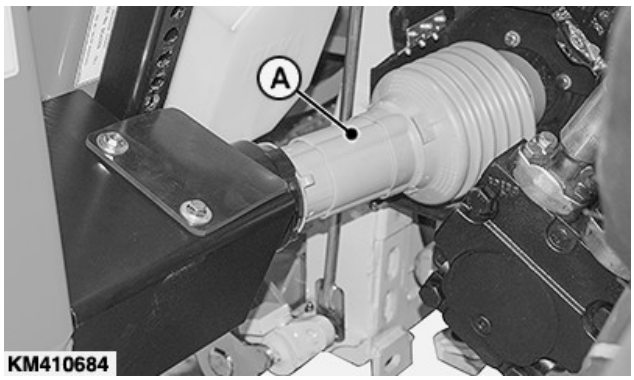


KM1002401—UN—23JAN14

KM00321,0000A62-40-24APR20-2/5

6. 駆動軸 (A) を取り外します。

A：**駆動軸**



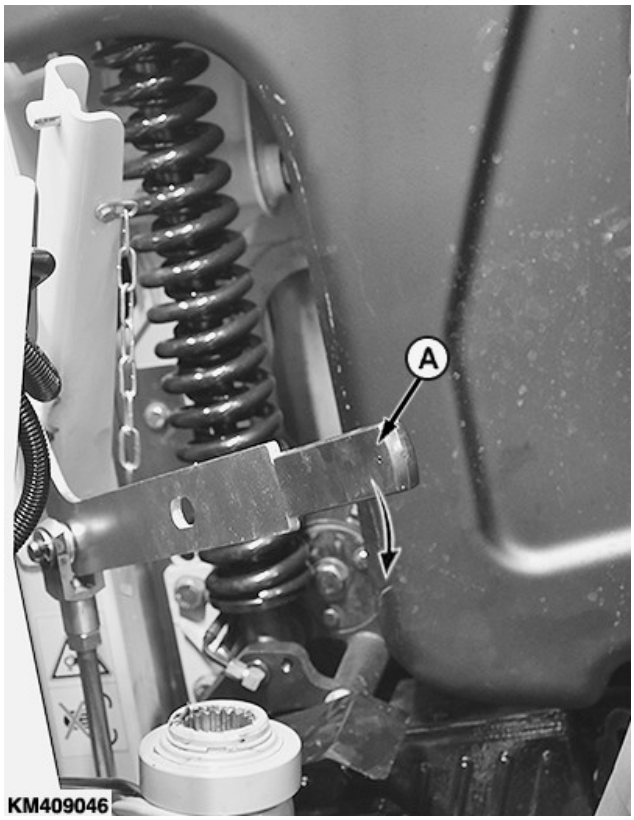
KM410684—UN—24APR20

次のページへ

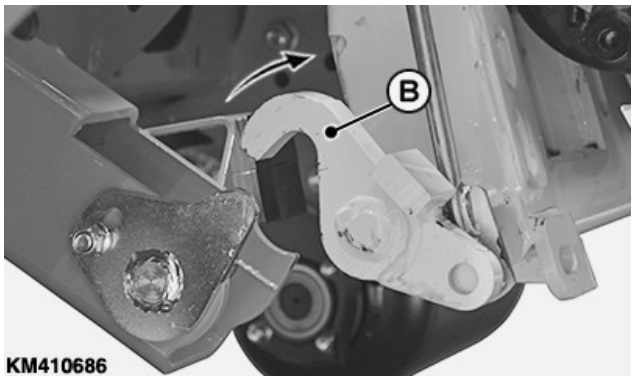
KM00321,0000A62-40-24APR20-3/5

7. 止め爪 (B) が完全に後退するようにカムロックレバー (A) を開きます。

A：**カムロックレバー**　　**B**：**止め爪**



KM409046—UN—24APR20

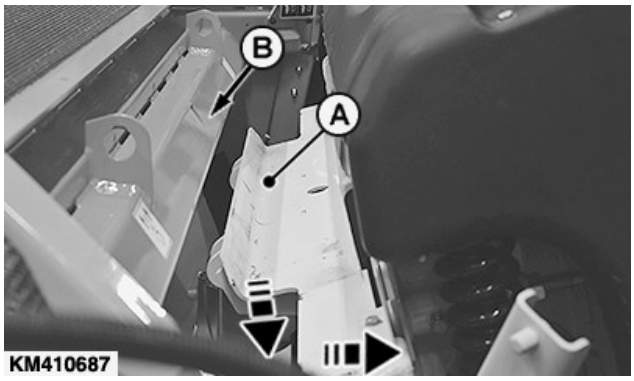


KM410686—UN—24APR20

KM00321,0000A62-40-24APR20-4/5

8. フォーレージハーベスターのエンジンを始動します。サスペンションレール (A) がピックアップのフレームチューブ (B) の少し下になるまで、カッターヘッドアセンブリを下げます。ピックアップフレームから離れます。

A：**サスペンションレール**　　**B**：**フレームチューブ**



KM410687—UN—24APR20

KM00321,0000A62-40-24APR20-5/5

道路交通規則の順守

注意： 機械を公道で輸送する前に、道路での農業車両の使用に関する規制に機械が準拠していることを確認してください。

注意： 公道を使用する際、特に農場や圃場を離れた交差点のある道路では、機械のドライバーに対して潜在的な危険について警告し、安全な運転と走行について指示する人を 1 人以上従事させてください。

注意： すべての道路ライトと警告灯が機能することを点検してください。

KM00321,0000907-40-08APR19-1/1

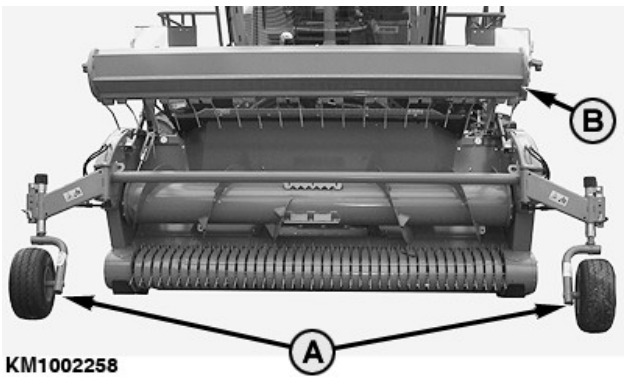
輸送位置へのウインドローコンプレッサロールの設定

1. 深さゲージホイール (A) が回転して完全に前向きになるまで、フォーレージハーベスターを後進させます。
2. 深さゲージホイール (A) が地面に触れないようにフォーレージハーベスターのフロントシールドを上げます。

注記： 深さゲージホイールは地面から離れると、自動的にロックされ、回転しないように固定されます。

ウィンドローコンプレッサロール (B) を完全に上げます。

A：**深さゲージホイール**　　**B**：**ウィンドローコンプレッサロール**



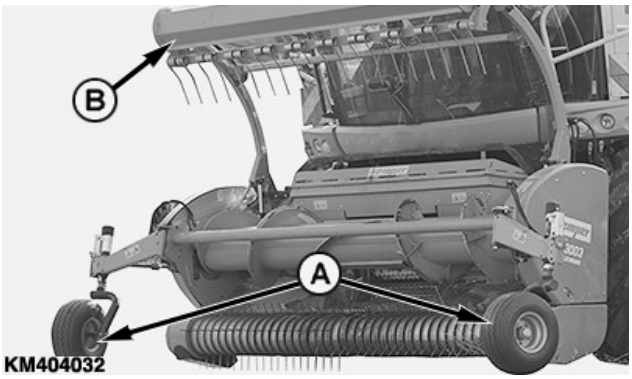
KM1002258—UN—27MAR12

KM00321,0000A57-40-22APR20-1/3

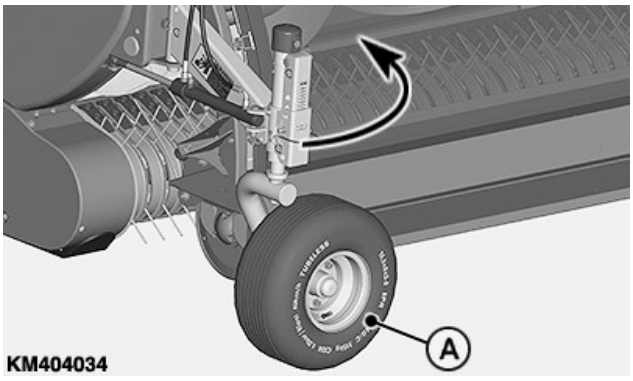
3. ピックアップを公道で輸送するときは、必ず深さゲージホイール (A) を輸送位置まで内側に折りたたみます。

重要： 深さゲージホイール (A) を内側に折りたたむ前にウインドローコンプレッサロール (B) を完全に上げる必要があります。これを守らないと、機械が損傷するおそれがあります。

A：**深さゲージホイール**　　**B**：**ウィンドローコンプレッサロール**



KM404032—UN—21APR20



KM404034—UN—10FEB20

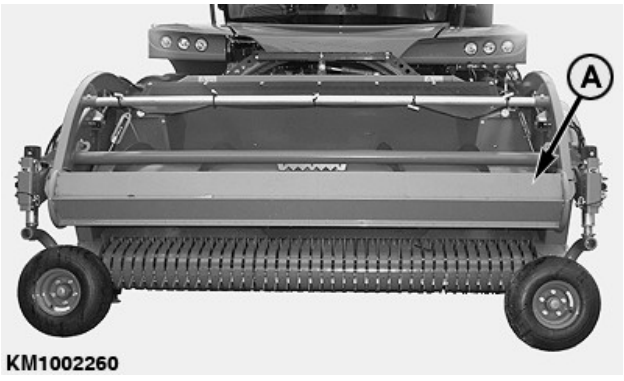
次のページへ

KM00321,0000A57-40-22APR20-2/3

4. ウィンドローコンプレッサロール (A) をゆっくりと下げます。

重要： シリンダの油圧が完全に解放されていることを確認してください。これにより、ウインドローコンプレッサロールが完全に下がります。

A：ウィンドローコンプレッサロール

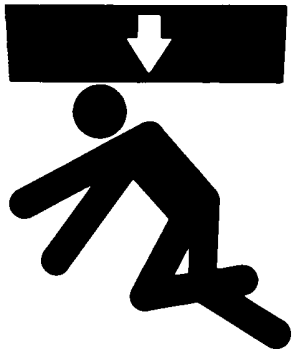


KM00321,0000A57-40-22APR20-3/3

安全操作手順の順守

注意： 調整を行う前に、必ずすべてのドライブを解除し、エンジンを停止して、すべての可動部が停止するまで待機してください。

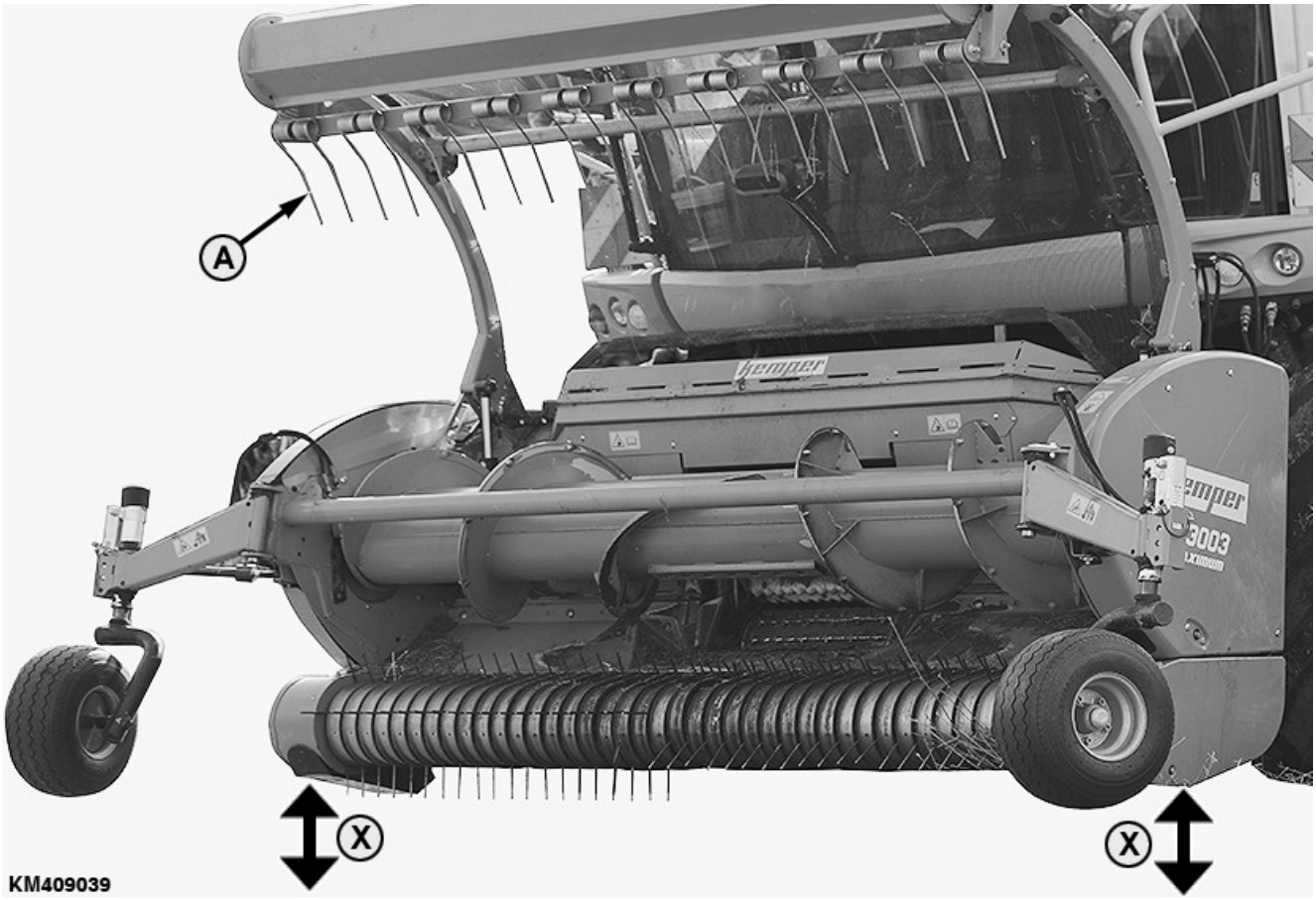
注意： 上昇したピックアップで作業する前に、ピックアップの下降を防止するため、下にブロックを置いてください。



TS261—UN—23AUG88

KM00321,0000270-40-31JAN14-1/1

上昇させたウィンドローコンプレッサロールの下側での作業



KM409039—UN—21APR20

A：レーキ　　**X**：ピックアップの最大高さ

注意： 詰まりを除去したり、上昇させたローラー圧縮装置の下で作業したりするときは、十分注意してください。レーキ (A) のタインにより大けがをするおそれがあります。

上昇させたウィンドローコンプレッサロールの下側で作業する前に次の手順を実施します：

1. ピックアップを完全に上げます (X)。
2. フォーレージハーベスターで、ヘッダー動力リフトシリンダを固定し、予期しない下降を防止します。

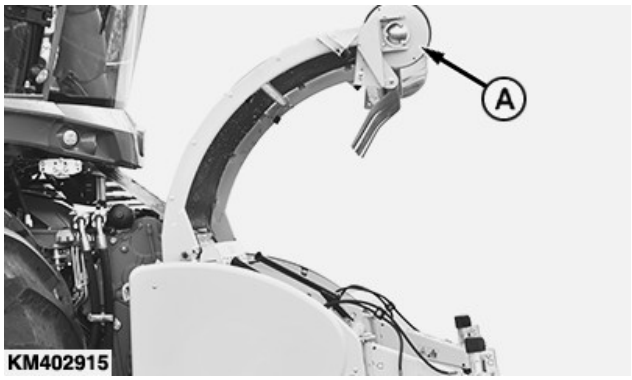
次のページへ

KM00321,0000A58-40-30APR20-1/3

3. ウィンドローコンプレッサロール (A) を最高位置まで上げます。

注意： ドライバがキャブ内にまだいる場合は、絶対に上昇させたウィンドローコンプレッサロールの下で作業をしないでください。

A：**ウィンドローコンプレッサロール**

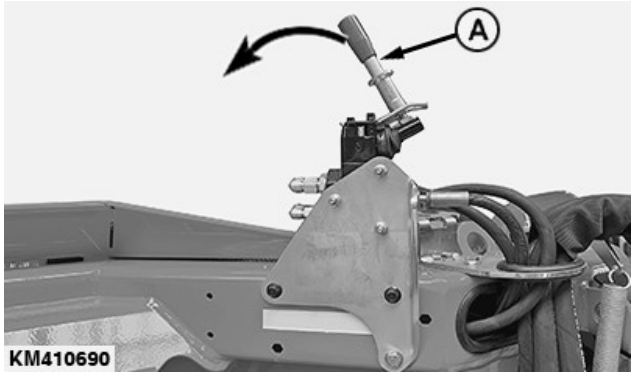


KM402915—UN—21JAN20

KM00321,0000A58-40-30APR20-2/3

4. 安全弁 (A) を閉めて、ウインドローコンプレッサロールが予期せず降下するのを防止します。

A：**安全弁**



KM410690—UN—30APR20

KM00321,0000A58-40-30APR20-3/3

動作位置へのウインドローコンプレッサロールの設定

1. シリンダ (B) を完全に伸長させてウインドローコンプレッサロール (A) を上げます。

A：**ウィンドローコンプレッサロール**　**B**：**シリンダ**

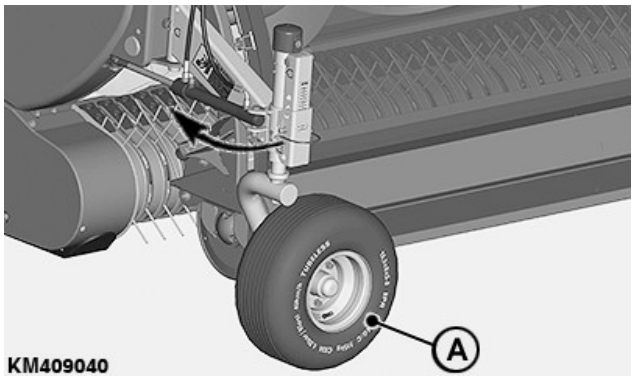
KM404037—UN—21APR20

次のページへ

KM00321,0000A59-40-21APR20-1/3

2. 深さゲージホイール (A) を動作位置まで外側へ動かします。

A：**深さゲージホイール**



KM409040—UN—21APR20

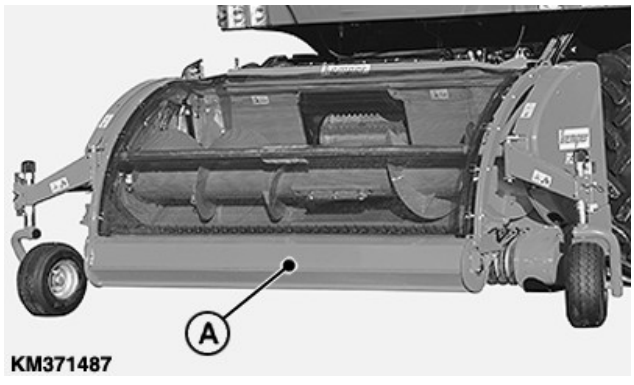
KM00321,0000A59-40-21APR20-2/3

3. ウィンドローコンプレッサロール (A) をゆっくりと下げます。

注記： 深さゲージホイールは地面に下ろすと、自動的にロック解除され、自由に回転できるようになります。

ピックアップを地面に下ろし、深さゲージホイールが走行方向に回転するまでフォーレージハーベスターを前進走行させます。

A：**ウィンドローコンプレッサロール**



KM371487—UN—10FEB20

KM00321,0000A59-40-21APR20-3/3

ウインドローコンプレッサロールの操作

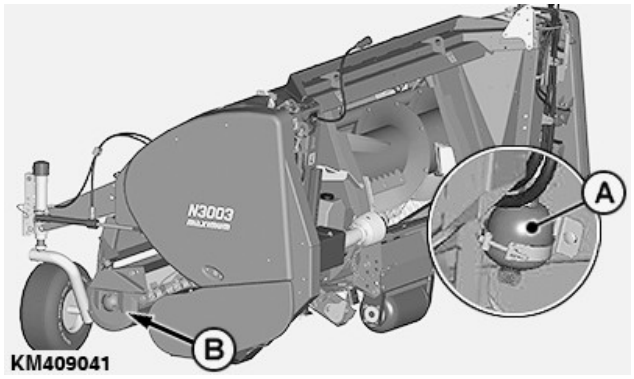
ウインドローコンプレッサロールの接触圧力は、圧力アキュムレータ (A) の油圧により調整されます。

注意： 圧力アキュムレータ (A) の取り外しや使用を開始するための作業は、油圧に関する訓練を受けたエンジニアまたは整備士のみが行うことができます。油圧アキュムレータで溶接、はんだ付け、または機械的作業を行わないでください。

ローラー圧縮装置のローラー (B) によって作物が押し上げられることなく常に干し草の列の上部に横たわるように (図参照)、ローラー圧縮装置を上げます。

注記： 圧力アキュムレータ *(A)* の油圧により、ウインドロー (干し草の列) のウインドローコンプレッサロールの動きが制御されます。

A：**圧力アキュムレータ**　　**B**：**ローラー**



KM409041—UN—22APR20

KM404041—UN—22APR20

KM00321,0000A5A-40-22APR20-1/1

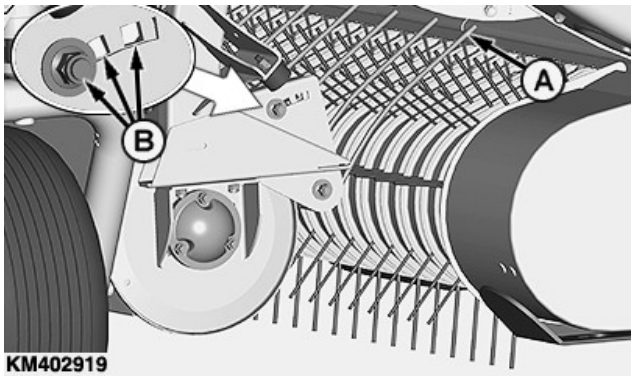
ローラー圧縮装置のレーキの調整

レーキ (A) がピックアップシリンダに対して常に平行に整列するように、レーキ (A) を両側の穴 (B) に配置します。

注記： 最初にレーキ *(A)* を前穴 *(B)* に配置してください。ピックアップシリンダに対する整列を点検し、必要に応じて調整します。

ローラー圧縮装置の作業高さの調整

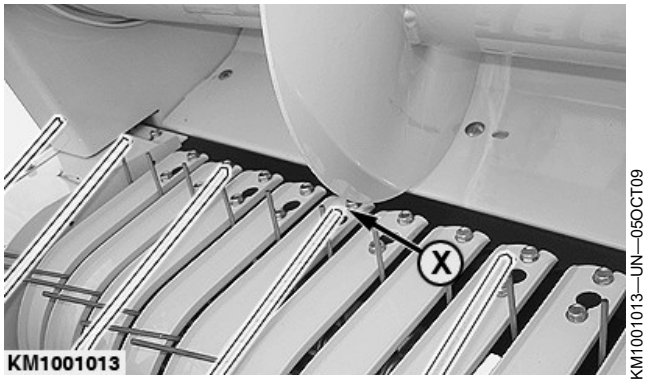
A：**レーキ**　　**B**：**穴**



KM00321,00009F9-40-10FEB20-1/2

レーキとフィードオーガウイング間の距離 (X) が 3 ~ 5 mm (0.12 ~ 0.19 in) になるまで、ゴムストップのシム (A) を追加または除去します。

A：**シム**　　**X**：**3 ~ 5 mm (0.12 ~ 0.19 in)**

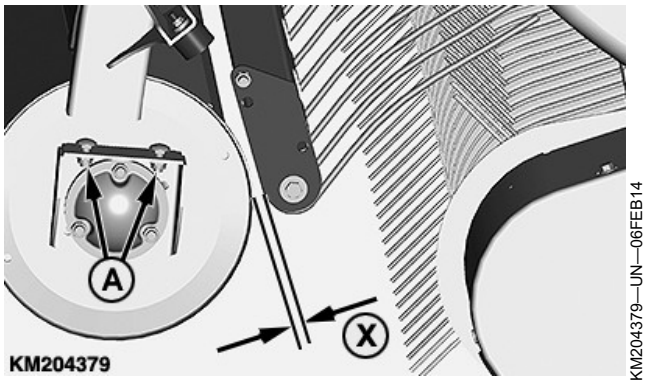


KM00321,00009F9-40-10FEB20-2/2

ローラー圧縮装置のローラーの調整

1. ねじ (A) を緩めます。
2. ローラーとレーキ間の距離 (X) を 8 ~ 10 mm (0.31 in ~ 0.39 in) に調整します。
3. ねじ (A) を締め付けます。

A：**ねじ**　　**X**：**8 ~ 10 mm (0.31 in ~ 0.39 in)**



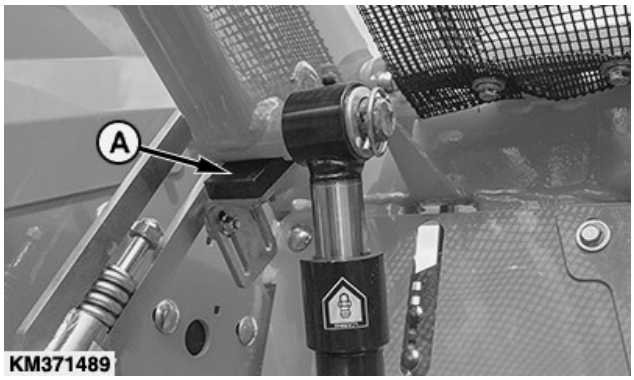
KM00321,000090D-40-10APR19-1/1

ローラー圧縮装置のフロート調整

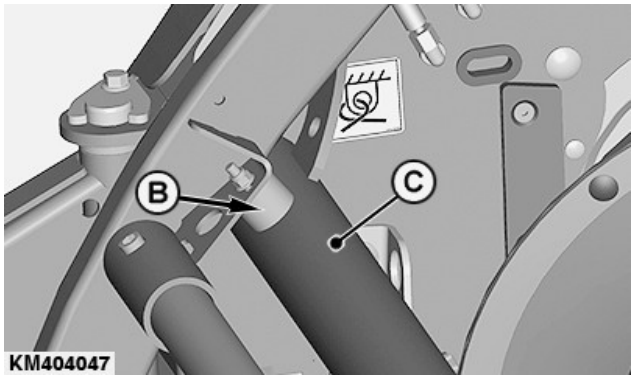
ローラー圧縮装置が動作位置にあるときに、フローモードを次のように調整します：

1. 最初に、ストップ (B) が管 (C) の約 5 mm 上を浮いて動くように、スロット穴のダウンストップ (A) を調整します。
2. ダウンストップ (A) のスロット穴が調整には不十分な場合、背後のバルブ (D) を穴 (E) の列を介して調整できます：
   - バルブ (D) を高く設定して、ストップ (B) と管 (C) の間の間隔を減らします。
   - バルブ (D) を低く設定して、ストップ (B) と管 (C) の間の間隔を増やします。
3. ローラー圧縮装置のフロート高さを確認し、必要に応じて微調整します。

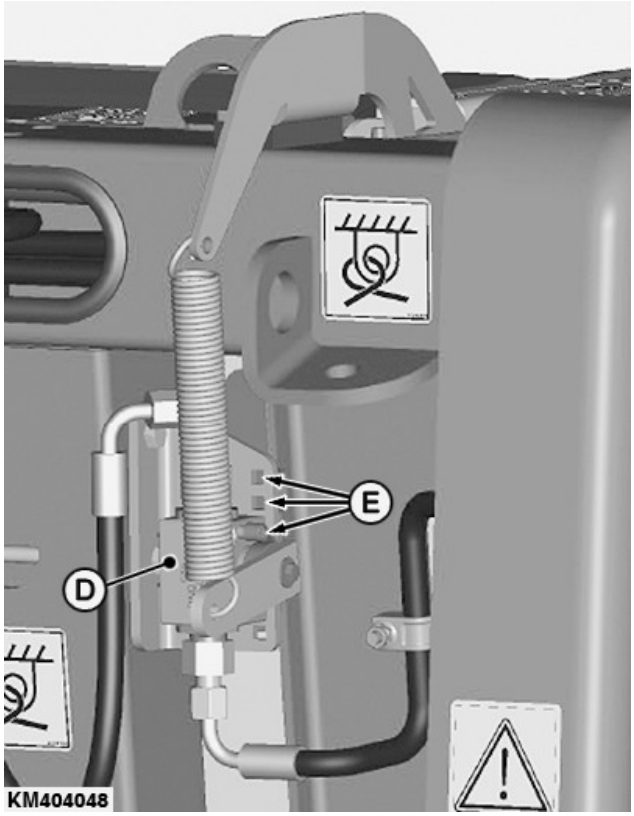
A：**ダウンストップ**
B：**停止**
C：**管**
D：**バルブ**
E：**穴**



KM371489—UN—11APR19



KM404047—UN—14FEB20



KM404048—UN—14FEB20

KM00321,0000A04-40-14FEB20-1/1

ゲージホイール高さの調整

シリンダの歯が地上 50 mm (2 in) の位置になるようにピックアップを調整します。

地上から歯までの間隔を増やすには、ロックピン (A) を取り外し、穴列に沿ってゲージホイール (B) を低く設定します。ロックピン (A) を再度取り付け、スプリングコッタ (C) で固定します。

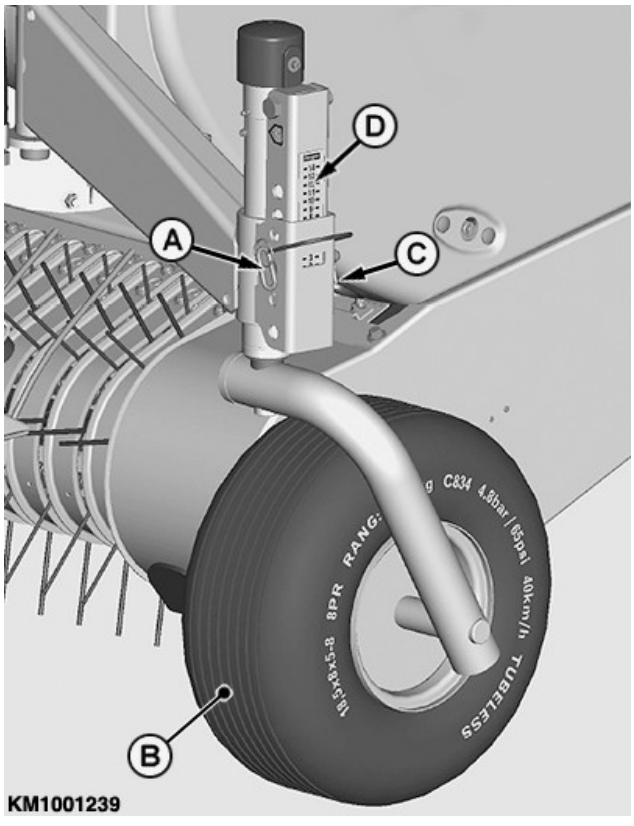
地上から歯までの間隔を減らすには、ロックピン (A) を取り外し、穴列に沿ってゲージホイール (B) を高く設定します。ロックピン (A) を再度取り付け、スプリングコッタ (C) で固定します。

重要： スケール (D) の値が両側で同じになるようにしてください。

ピックアップのクリアランスが常に両側で同じになるようにします。

重要： ピックアップの高さがハーベスターのダウンストップによって変わらないようにしてください。

A：ロックピン
B：ゲージホイール
C：スプリングコッタ
D：スケール



KM00321,000029B-40-05FEB14-1/2

注意： 機械に挟まれて手や指をけがしないように注意してください。ゲージホイール高さの調整中は特に注意してください。

KM00321,000029B-40-05FEB14-2/2

フィードオーガ高さの調整

フィードオーガスプリングを調整します。(このセクションの「フィードオーガスプリングの調整」参照)。

フィードオーガアーム (E) がゴムストップ (D) に接触して静止しているときに、フィードオーガフライト (A) とボトムシート (F) の間の距離 (G) は基準値以内である必要があります。

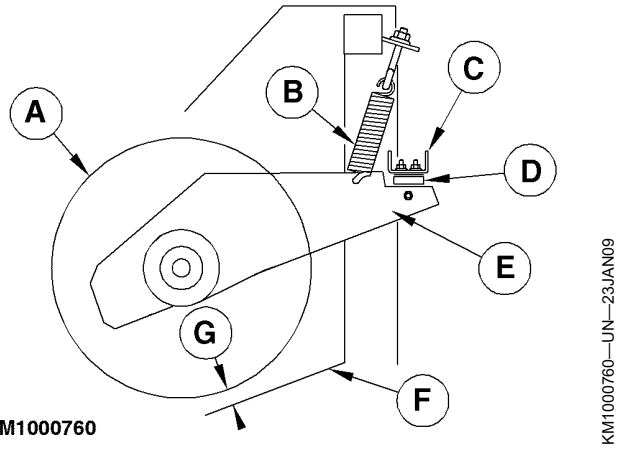
仕様

フィードオーガフライトからボトムシートまで：距離. . . . . 20 ± 5 mm (0.8 ± 0.2 in)

距離が正しくない場合は、次の手順に従います。

1. 両側のフィードオーガスプリング (B) を解放します。
2. ホイストを使用してフィードオーガを上げます。
3. ゴムストップ (D) とサポート (C) の間にシムを追加するか、取り外して、必要な距離に調整します。

注記： 下部ゴムストップから必要なシムを取り外すことができます。



A：**フィードオーガフライト**
B：**スプリング**
C：**ストップサポート**
D：**ゴムストップ**
E：**フィードオーガアーム**
F：**ボトムシート**
G：**20 ± 5 mm (0.8 ± 0.2 in)**

4. フィードオーガスプリング (B) を調整します。(このセクションの「フィードオーガスプリングの調整」参照)。

KM00321,00000F5-40-23JAN09-1/1

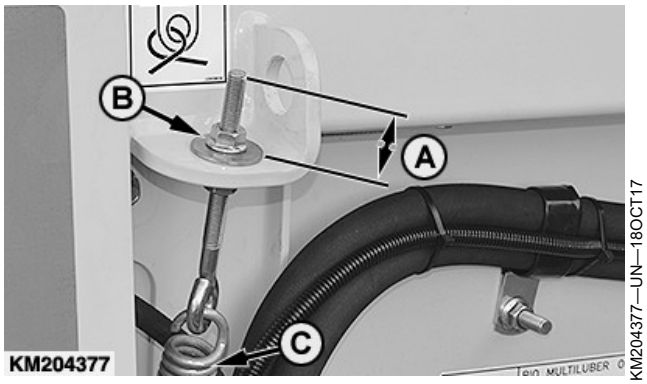
フィードオーガスプリングの調整

フィードオーガスプリング (C) の正しい長さを調整します。

これを行うには、調整ナット (B) を締め付けるか緩めて、ねじ山の長さ (A) を 35 ~ 39 mm (1.4 in ~ 1.5 in) にします。

反対側で手順を繰り返します。

注記： 上記のフィードオーガスプリングの調整は基本的な調整です。圃場の条件に応じて再調整してください (高い生産量を得るには、スプリングの張力を減らしてください)。



A：**ねじ山の長さ**
B：**調整ナット**
C：**スプリング**

KM00321,000029F-40-06FEB14-1/1

スクレーパの調整

1. ナット (A) を緩めて外します。
2. スクレーパ (B) を前方に動かし、フライト (C) とスクレーパ (B) の間の指定されている間隔に調整します。

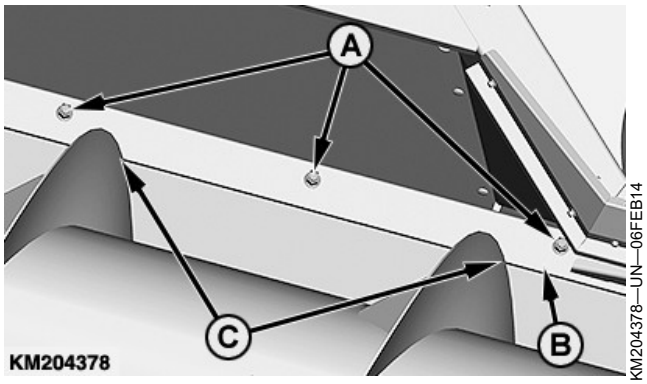
仕様

フライトからスクレーパまで：隙間. . . . . 0 ~ 2 mm (0 ~ 0.08 in)

3. ナット (A) を再度締め付けます。
4. 手でオーガを回し、自由に回転することを確認します。

重要： スクレーパはボルトの頭を下向きにして取り付ける必要があります。

スクレーパがオーガに対して常に平行であることを確認してください。



A：**ナット**
B：**スクレーパー**
C：**フライト**

KM00321,00002A0-40-06FEB14-1/1

自動オーガリフトの調整 (オプション)

シリンダ (A) が完全に伸長し、ローラー圧縮装置が完全に上昇すると、フィードオーガアーム (B) は下部ストップサポート (G) に接触**できません**。最小距離 (X) を 1 ~ 3 mm (0.04 ~ 0.12 in) に調整します。

距離が正しくない場合は、次の手順に従います。

1. ローラー圧縮装置を完全に下ろします。
2. 距離 (X) を増やすには、ロックナット (C) を反時計回りに回します。

   距離 (X) を減らすには、ロックナット (C) を時計回りに回します。

注意： 全ねじロッド (D) がロックナット (C) のプラスチックリングに完全にねじ込まれていることを必ず確認してください。

3. ローラー圧縮装置を完全に上昇させて距離 (X) を点検します。

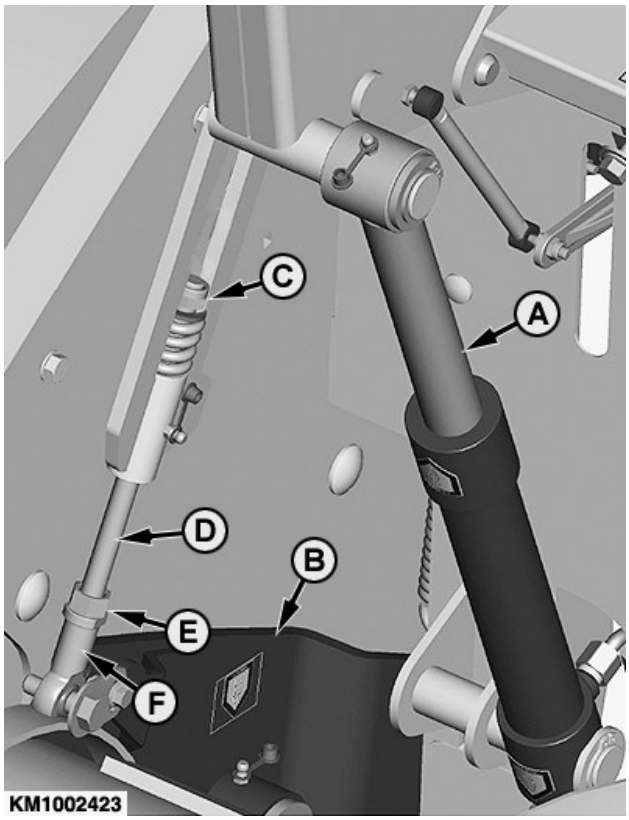
   必要に応じて手順を繰り返します。

注記： 正しい調整に対して全ねじロッド *(D)* が短すぎる場合は、ナット *(E)* を緩めます。全ねじロッド *(D)* を反時計回りに回し、ナット *(E)* を再度締め付けます。

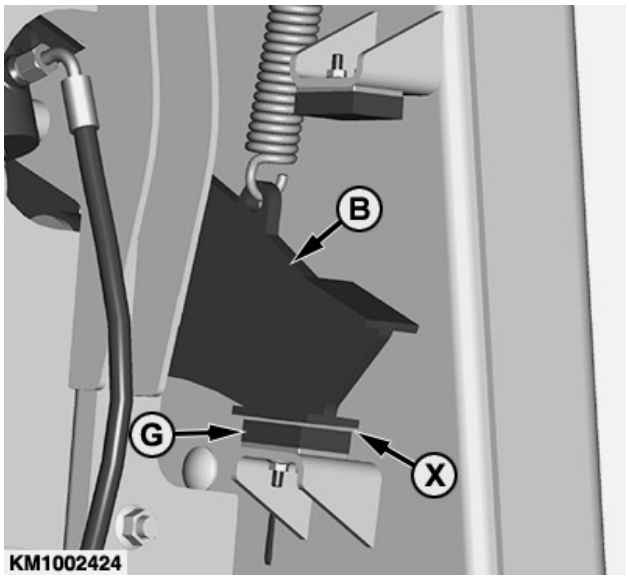
注意： 全ねじロッド (D) が最小長さ 10 mm (0.39 in) でジョイント継ぎ手 (F) に取り付けられたことを確認してください。

4. 反対側で手順を繰り返します。

A：シリンダ
B：フィードオーガアーム
C：ロックナット
D：ねじ付きねじ込みロッド
E：ナット
F：ジョイントヨーク
G：ストップサポート
X：1 ~ 3 mm (0.04 ~ 0.12 in)



KM1002423—UN—29JAN14



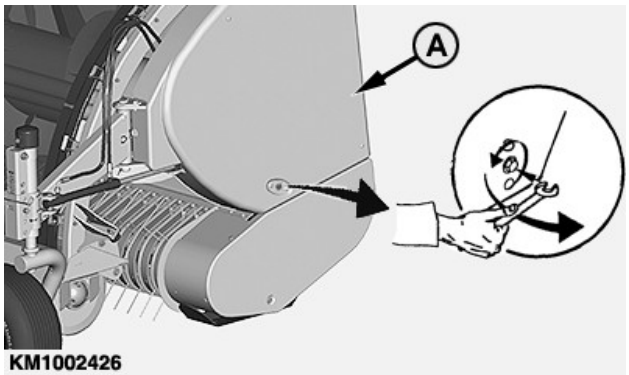
KM1002424—UN—29JAN14

KM00321,000027B-40-06FEB14-1/1

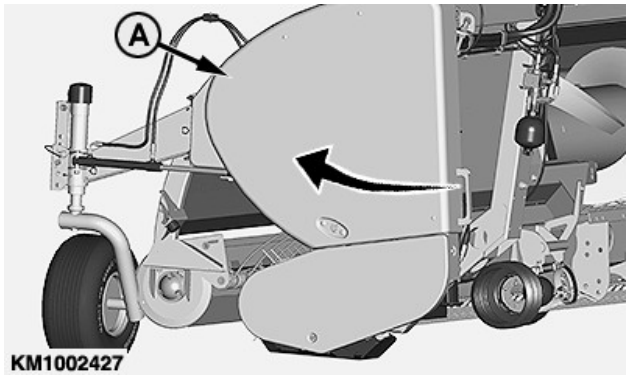
サイドガードを開く

1. ゲージホイールを内側に折りたたみます。
2. 対辺幅 13 mm の適切な工具を使用して、折りたたみ式サイドガード (A) を開きます。
3. サイドガード (A) を外側に旋回させます。

A：**サイドガード**



KM1002426—UN—06FEB14



KM1002427—UN—06FEB14

KM00321,00009DD-40-22JAN20-1/1

フィードオーガパドルの調整 (丈短作物)

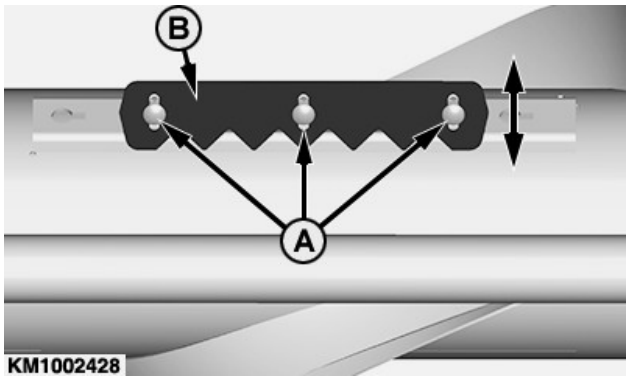
パドル (B) は軽量 / 丈短作物のフィードを向上させます。

注記： 丈短作物ではパドル *(B)* をさらに外側に、丈高作物では内側に移動してください。

1. ボルト (A) を緩めます。
2. パドル (B) を必要な位置まで移動します。
3. ボルト (A) を締め付けます。

パドルごとに手順を繰り返します。

重要： **滑らかな側を上にしてパドル (B) を取り付けることをお勧めします。ざらざらな側を上にしてパドル (B) を取り付けると、バックフィードの危険が増します。**



KM1002428—UN—29JAN14

A：**ボルト**　　**B**：**パドル**

KM00321,000027E-40-07FEB14-1/1

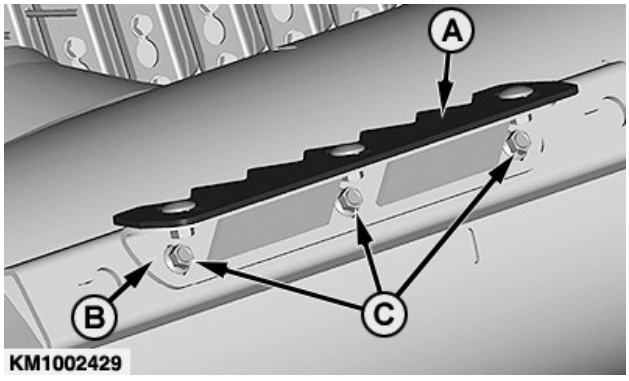
フィードオーガパドルの取り外し (丈高作物)

丈高作物または冬季飼料作物の収穫時は、フィードしやすくするため、オーガにボルト止めされたパドル (A) とパドルブラケット (B) を取り外します。

1. ボルト (C) を緩めます。
2. パドル (A) とパドルブラケット (B) を取り外します。

パドルごとに手順を繰り返します。

A：**パドル**
B：**ブラケット**
C：**ボルト**



KM1002429—UN—29JAN14

KM00321,0000280-40-29JAN14-1/1

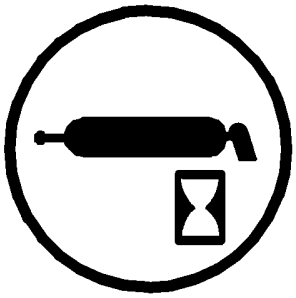
潤滑間隔

自走式フォーレージハーベスターの積算時間計を基準に、以下のページに示す時間間隔で整備を実行します。

重要： 推奨潤滑間隔は通常の条件に基づいています。過酷な条件や通常とは異なる条件では、より頻繁に潤滑やオイル交換を行う必要があります。

グリースガンを使用する前にグリースフィッティングを清掃します。欠落または破損しているグリースニップルはすぐに交換してください。新品のフィッティングでグリースが入っていかない場合は、フィッティングを交換するか、取り外してグリースの通路がつまっていないか点検してください。

注意： ハーベスターのエンジンが回転しているときは、ピックアップの清掃、潤滑、または調整を行わないでください。



CC 000934

CC000934—UN—05APR95

CC,630APU003833-40-25AUG97-1/1

グリース

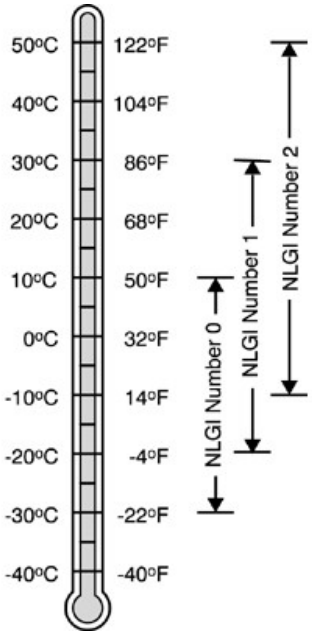
NLGI グリースちょう度番号、および整備間隔中に予想される気温範囲に基づいたグリースを使用してください。

AVIA AVIALITH 2 EP グリースをお勧めします。

以下の仕様に適合する他のグリースも使用できます。

NLGI サービス分類 GC-LB

重要： 一部の種類のグリース増ちょう剤は他のものと混合できません。さまざまな種類の潤滑剤を混合する前に潤滑剤サプライヤにお問い合わせください。



KM1000899

KM1000899—UN—09JUN09

KM00321,000090F-40-11APR19-1/1

代替潤滑剤と合成潤滑剤

特定地域の気候条件によっては、この取扱説明書に記載されている潤滑剤とは別の潤滑剤が必要な場合があります。

一部の潤滑剤は現地で入手できない可能性があります。

情報や推奨事項については、KEMPER 取扱店にお問い合わせください。

この取扱説明書に記載の性能要件に適合する場合は、合成潤滑剤を使用できます。

このマニュアルに記載された温度制限と整備間隔は、従来型の潤滑剤と合成潤滑剤の両方に適用されます。

再精製された基油製品も、精製後の潤滑性能が要件に適合すれば使用できます。

KM00321,0000911-40-11APR19-1/1

潤滑剤の保管

お客様の装置は、清浄な潤滑剤を使用した場合にのみ最上の効率で操作できます。

清浄な容器を使用してすべての潤滑剤を取り扱ってください。

潤滑剤や容器は、ほこり、湿気、およびその他の汚染から保護された場所に保管してください。容器を専用の場所に保管して、水やごみの堆積を回避してください。

すべての容器に内容物を識別するための印が正しくつけられていることを確認してください。

古い容器やそれに含まれる残留潤滑剤をすべて適切に廃棄してください。

KM00321,0000912-40-11APR19-1/1

潤滑剤の混合

通常は、異なるブランドまたは種類のオイルは混合しないでください。オイルメーカーは、一定の仕様や性能要件に適合するように添加剤を配合しています。

異なるオイルを混ぜると、これらの添加剤が適切に機能しなくなり、潤滑性能が低下することがあります。

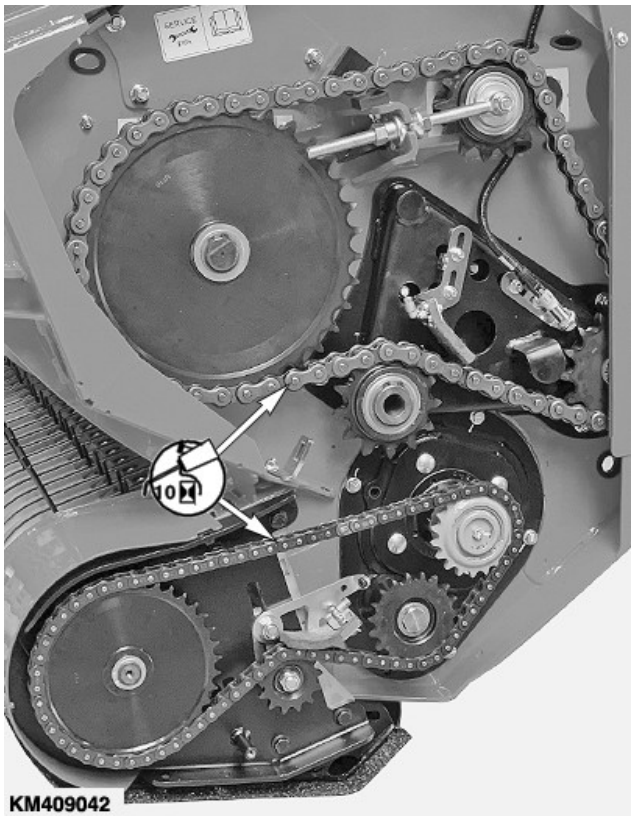
情報や推奨事項については、KEMPER 販売店にお問い合わせください。

KM00321,0000913-40-11APR19-1/1

10 時間ごと — 駆動チェーン

SAE 30 エンジンオイルで潤滑します。

駆動チェーンの張力を 10 運転時間ごとに調整します (「整備」セクションの「駆動チェーンの調整」参照)。

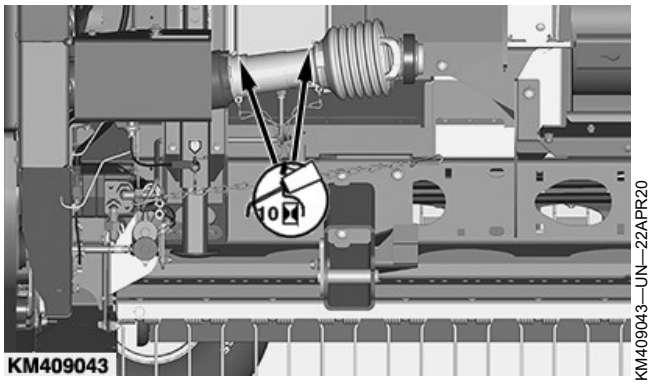


KM409042—UN—22APR20

KM00321,0000A5B-40-22APR20-1/1

10 運転時間ごと — ピックアップ駆動軸

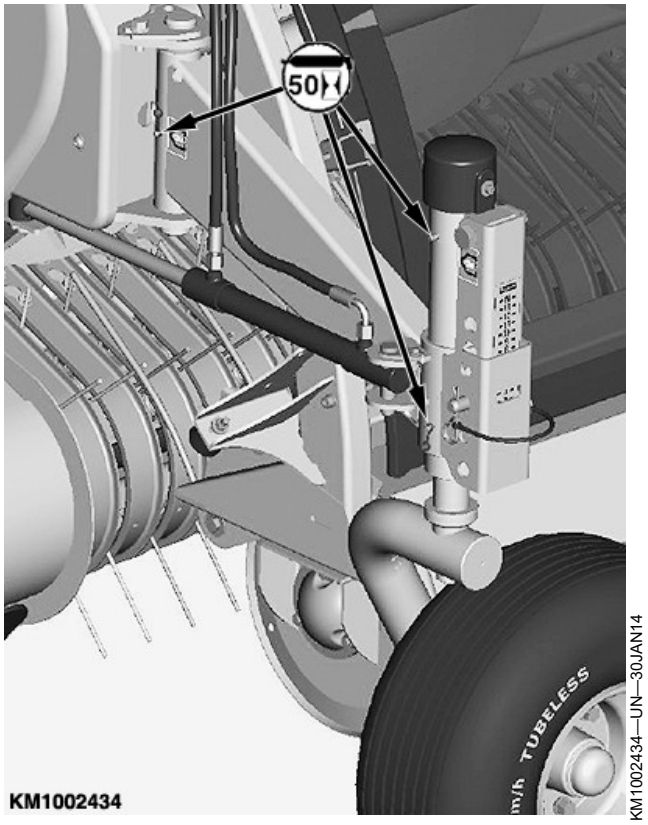
グリースで潤滑します。



KM00321,0000A5C-40-22APR20-1/1

50 時間ごと — ピボットゲージホイール

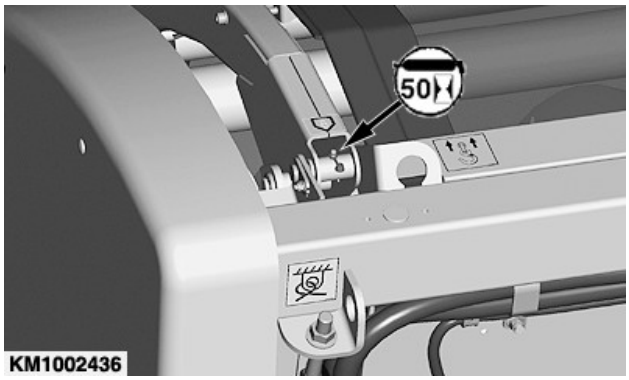
グリースで潤滑します。



KM00321,00009FB-40-11FEB20-1/1

50 時間ごと — ローラー圧縮装置のリフトアーム

グリースで潤滑します。

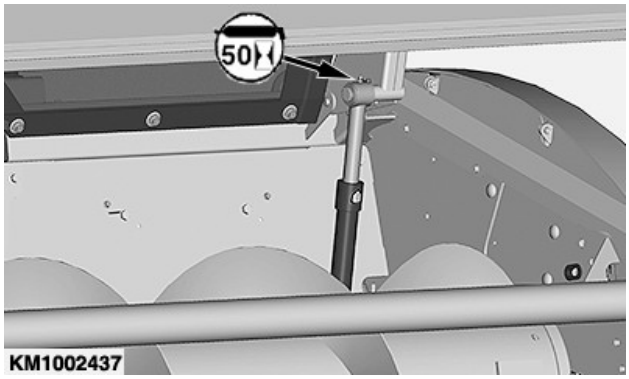


KM1002436—UN—31JAN14

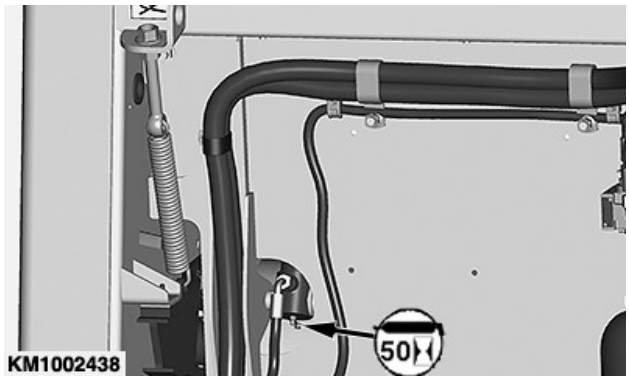
KM00321,0000918-40-11APR19-1/1

50 時間ごと - ローラー圧縮装置のシリンダ

グリースで潤滑します。



KM1002437—UN—31JAN14

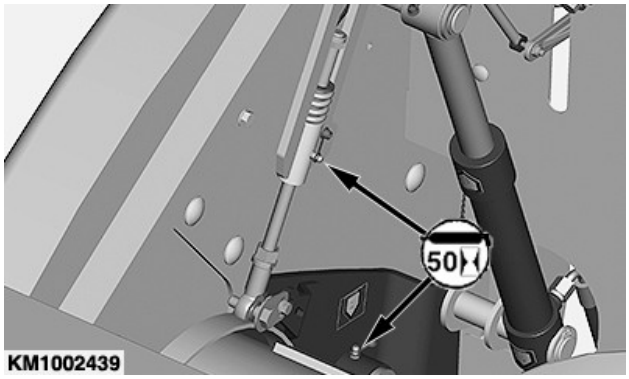


KM1002438—UN—31JAN14

KM00321,0000919-40-11APR19-1/1

50 時間ごと — フィードオーガのピボットポイント

グリースを注油します。

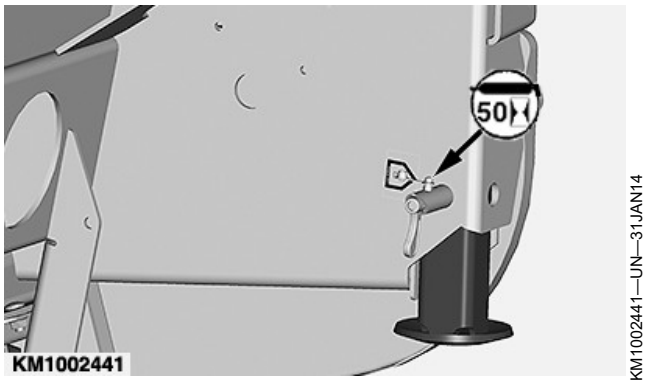


KM1002439—UN—31JAN14

KM00321,000091A-40-11APR19-1/1

50 時間ごと — ジャッキスタンド

グリースで潤滑します。



KM00321,000091B-40-11APR19-1/1

ピックアップの操作

注意： ピックアップを吊り上げるときは、下にブロックを置いてください。調整や整備作業を行う前にエンジンを停止してください。

症状	問題	解決方法
ピックアップが地面まで下がらない	フロントタイヤ空気圧が過大	タイヤ空気圧を減らす
	フロート圧力が高すぎる[1]	フロート圧力正しく設定し直す
ピックアップが地面に入る	ゲージホイールが不適切に設定されている	ゲージホイールを再調整する
作物がフィードオーガに巻き込まれる	オーガスクレーパが取り付けられていない	スクレーパを取り付けて調整する
	スクレーパの設定不良	スクレーパを再調整する
フィードオーガが非常に簡単にスリップする	フィードオーガ回転数が高すぎる	フィードオーガ回転数を下げる
	スクレーパの調整不良	スクレーパを正しく調整する
	フィードオーガパドルが外側に極端に離れて設定されている	フィードオーガパドルを内側に動かす
	スリップクラッチの摩耗	摩耗した部品を交換する
作物の一部しか収集されない	ピックアップの歯の回転が遅すぎる	回転数を増やす
	走行速度が速すぎる	速度を下げる
	ゲージホイールが不適切に設定されている	ゲージホイールの高さを調整する
ピックアップの歯が回転できない	チェーンが取り付けられていない	チェーンを取り付けて調整する
	カムの不具合	カムが破損または摩耗していないか点検する
ピックアップが自由にフロートまたはドロップしない	フロートが過剰または不十分	フロート圧力を調整する[1]
	ギアケースフリーホイールのスタッドまたはスプリングが摩耗または破損している	影響する部品を交換する
ピックアップが地表に作物の一部を残す	ピックアップが空中でフロートしている	フロート圧力を調整する[1]
	歯が斜めになっているか破損している	歯をまっすぐにするか交換する
ピックアップの歯の破損	ピックアップが低すぎる	ピックアップを上げる
	ピックアップシリンダ内に異物や破損した歯がある	異物や破損した歯を除去する
スクレーパの内側が摩耗している	ピックアップのスパイラル状の歯が曲がったスクレーパと衝突する	衝突している場所を確認し、修正する ピックアップのフロートを増やす

次のページへ

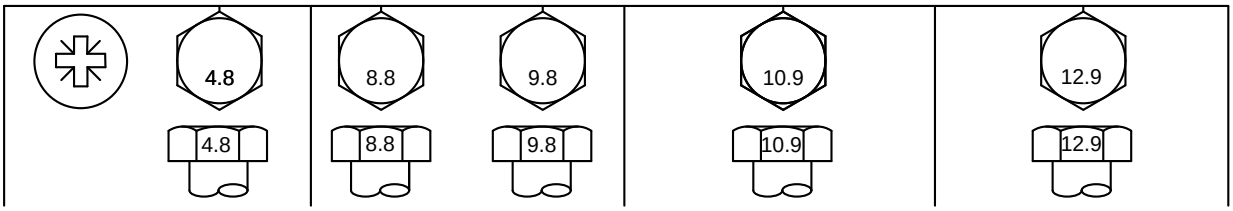
KM00321,000028D-40-07FEB14-1/2

症状	問題	解決方法
作物が運搬されず、フィード開口部に詰まっている	ウィンドローの容量が大きいか、対地速度が速すぎる	ウィンドローの容量を減らすか、速度を落とす
	ピックアップの歯がない	なくなった歯を交換する
ローラー圧縮装置 (オプション) のレーキがフィードオーガと衝突する	ローラー圧縮装置の作業高さが正しく調整されていない	ローラー圧縮装置の作業高さを調整する
ピボットゲージホイールを調整できない	ピボットゲージホイールにグリースがない	ピボットゲージホイールをグリースで潤滑する

[1] 該当するハーベスターのオペレータマニュアル参照

KM00321,000028D-40-07FEB14-2/2

メトリックボルトとねじのトルク値



TS1742—UN—31MAY18

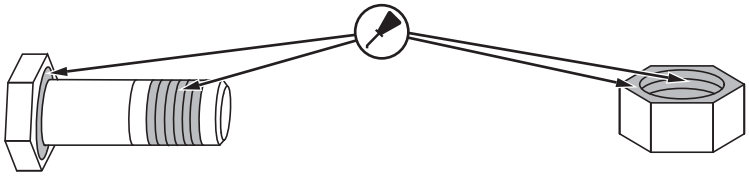
ボルトまたはネジのサイズ	4.8クラス				等級 8.8 または 9.8				等級 10.9				等級 12.9			
	六角頭[a]		フランジ付き[b]		六角頭[a]		フランジ付き[b]		六角頭[a]		フランジ付き[b]		六角頭[a]		フランジ付き[b]	
	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in
M6	3.6	31.9	3.9	34.5	6.7	59.3	7.3	64.6	9.8	86.7	10.8	95.6	11.5	102	12.6	112
									N·m	lb·ft	N·m	lb·ft	N·m	lb·ft	N·m	lb·ft
M8	8.6	76.1	9.4	83.2	16.2	143	17.6	156	23.8	17.6	25.9	19.1	27.8	20.5	30.3	22.3
			N·m	lb·ft	N·m	lb·ft	N·m	lb·ft								
M10	16.9	150	18.4	13.6	31.9	23.5	34.7	25.6	46.8	34.5	51	37.6	55	40.6	60	44.3
	N·m	lb·ft														
M12	—	—	—	—	55	40.6	61	45	81	59.7	89	65.6	95	70.1	105	77.4
M14	—	—	—	—	87	64.2	96	70.8	128	94.4	141	104	150	111	165	122
M16	—	—	—	—	135	99.6	149	110	198	146	219	162	232	171	257	190
M18	—	—	—	—	193	142	214	158	275	203	304	224	322	245	356	263
M20	—	—	—	—	272	201	301	222	387	285	428	316	453	334	501	370
M22	—	—	—	—	365	263	405	299	520	384	576	425	608	448	674	497
M24	—	—	—	—	468	345	518	382	666	491	738	544	780	575	864	637
M27	—	—	—	—	683	504	758	559	973	718	1080	797	1139	840	1263	932
M30	—	—	—	—	932	687	1029	759	1327	979	1466	1081	1553	1145	1715	1265
M33	—	—	—	—	1258	928	1398	1031	1788	1319	1986	1465	2092	1543	2324	1714
M36	—	—	—	—	1617	1193	1789	1319	2303	1699	2548	1879	2695	1988	2982	2199

記載している公称トルク値は、手動トルクレンチなど、想定レンチ精度 20% の一般用途のみに適用されます。
特定の用途のために異なるトルク値や締め付け手順が指定されている場合は、これらの値を使用しないでください。
ロックナット、ステンレススチール製留め具、または U ボルトのナットについては、特定の用途の締め付け手順を参照してください。

留め具は、同じ等級またはそれ以上の等級のものと交換してください。より高い等級の留め具を使用する場合は、元の強さで締め付けてください。

- 留め具のねじ山が清浄であることを確認します。
- 以下の図に示すように、Hy-Gard™ または同等のオイルを頭の下および留め具のねじ山に薄く塗ります。
- オイルの量に留意して、過剰なオイルによる止まり穴での油圧ロックアップの可能性を減らしてください。
- ねじ山を正しくかみ合わせます。

TS1741—UN—22MAY18



[a] 六角頭の列の値は、*ISO 4014* および *ISO 4017* 六角頭、*ISO 4162* 六角穴付き頭、および *ISO 4032* 六角ナットに有効です。
[b] 六角フランジ付きの列の値は、*ASME B18.2.3.9M*、*ISO 4161*、または *EN 1665* の六角フランジ付き製品に有効です。

DX,TORQ2-40-30MAY18-1/1

駆動チェーンの調整

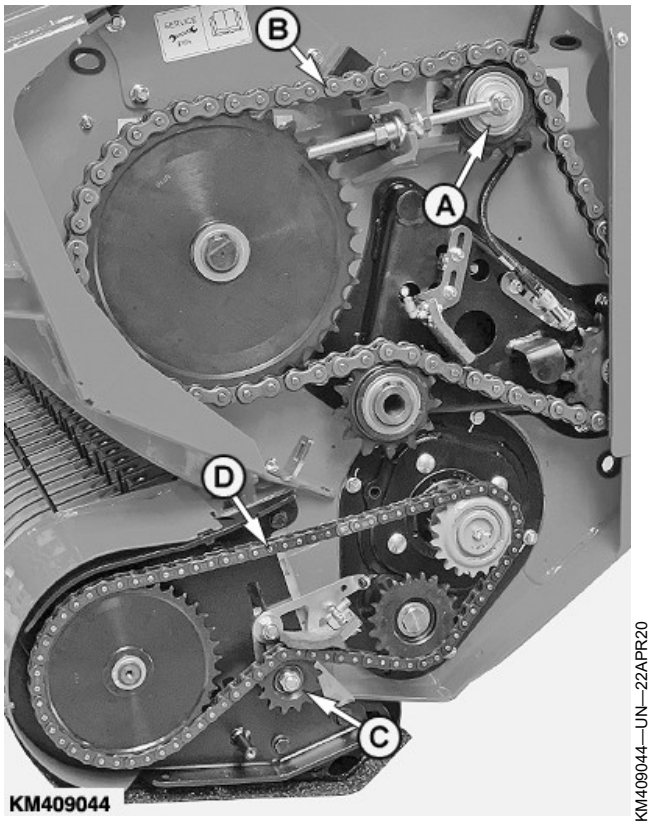
アイドラスプロケット (A) を使用して、コンベアオーガを駆動するチェーン (B) を締め付けます。

アイドラスプロケット (A) のたるみが、ドライブチェーンアイドラの反対のストランドで 3 ~ 10 mm (0.12 ~ 0.4 in) になるように調整します。

アイドラスプロケット (C) を使用して、ピックアップドラムを駆動するチェーン (D) を締め付けます。

駆動チェーンアイドラギヤの反対側のストランドでのたるみが 10 ~ 15 mm (0.4 ~ 0.6 in) になるようにアイドラスプロケット (A) を調整します。

A : **アイドラスプロケット**
B : **コンベアオーガ駆動チェーン**
C : **アイドラスプロケット**
D : **ピックアップドラム駆動チェーン**

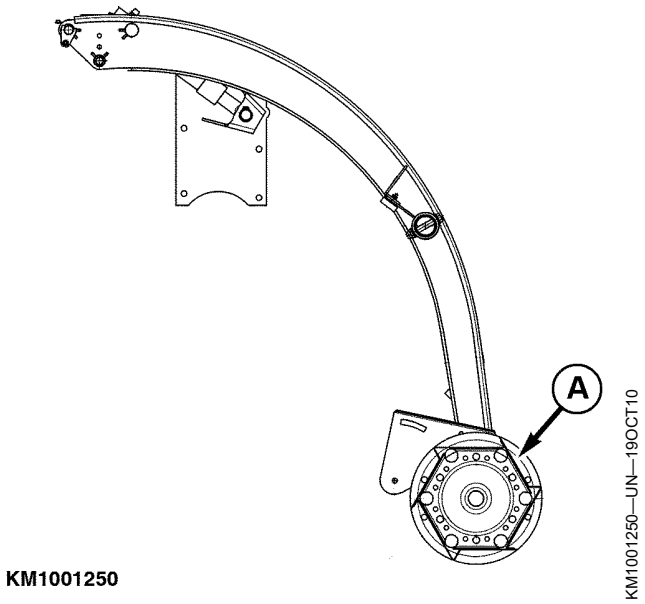


KM00321,0000A5D-40-22APR20-1/1

ローラーの取り付け方向

ローラー圧縮装置のローラー (A) を取り外した場合は、ローラー (A) の再取り付け時に必ず取り付け方向に注意してください。

A : **ローラー**



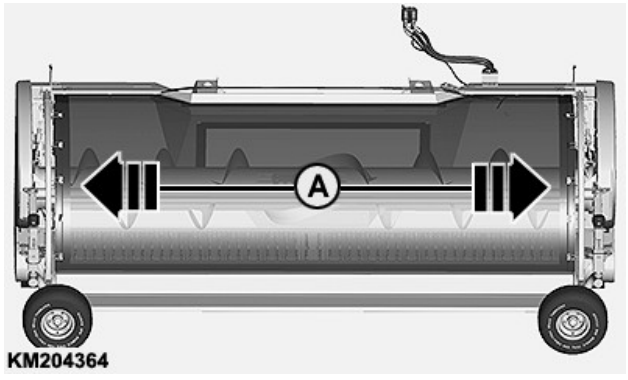
KM00321,000091E-40-12APR19-1/1

トラッシュネット

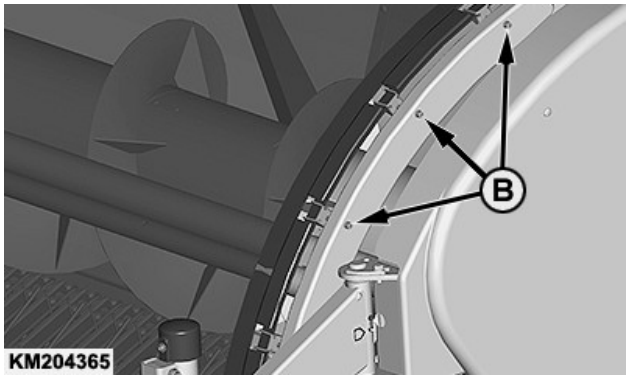
トラッシュネット (A) の張力を維持します。

必要に応じて、ねじ (B) を締め付けて適切な張力にします。

A：**ゴミネット** **B**：**ねじ**



KM204364—UN—31JAN14



KM204365—UN—31JAN14

KM00321,000028F-40-31JAN14-1/1

集中チェーン潤滑装置のオイルリザーバー

集中チェーン潤滑装置のオイルリザーバーに生分解性オイル (FUCHS PLANTOLUBE KS 46 N など) を充填します。

重要： **生分解性のオイル以外は絶対に使用しないでください。**

仕様

オイルリザーバー：容量. . . . . 4 L
(1 US gal)

重要： **ポンプ流量の調整により、必要に応じてリザーバーに補充してください。**

KM404045—UN—11FEB20

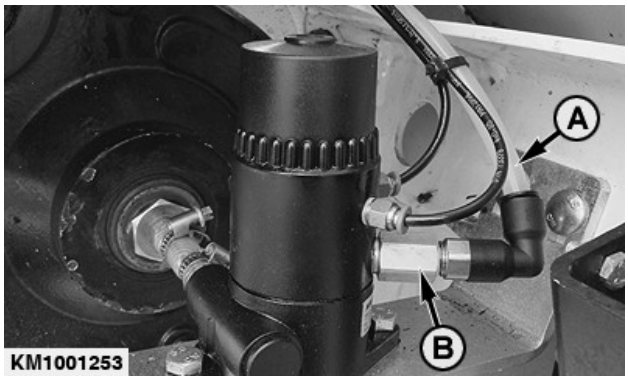
KM00321,00009FE-40-11FEB20-1/1

集中チェーン潤滑装置 (オプション) の潤滑油ポンプのエア抜き

注記： オイルリザーバーが完全に空になった場合は、チェーン注油システム回路のエア抜きが必要です。

1. インレットホース (A) を外します。
2. インレットホース (A) から空気が完全に抜けるまで待ってから、インレットホース (A) をカップリング (B) に再接続します。
3. オイルがブラシから絶えず流出するまでピックアップを運転します。

A：**インレットホース** **B**：**カップリング**



KM1001253—UN—19OCT10

KM00321,0000920-40-12APR19-1/1

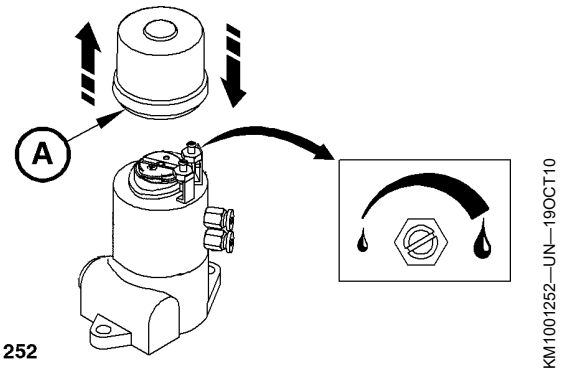
集中チェーン潤滑装置 (オプション) のオイル流量の調整

各チェーンのオイル流量を次のように調整します：

1. カバー (A) を取り外します。
2. 該当するブラシのオイル流量を調整できるねじを確認します。
3. ねじを時計回りに回すとオイル流量が増え、反時計回りに回すと減ります。

注記： ポンプは非常に精密です。ねじを *1/4* 回転ずつ回して流量を調整します。ねじを完全にねじ込んだときは *(*最大流量*)*、*4* 回転緩めることで流量は最小になります。

4. カバー (A) を取り付けます。



KM1001252

A：**ポンプカバー**

KM00321,0000921-40-12APR19-1/1

ピックアップの保管

ピックアップを十分に清掃します。籾殻やごみが水分を吸い取り、錆を発生させます。

ピックアップは、ホイールとサポートスタンドの上に立てて風雨にさらされない場所に保管してください。

タイヤの空気を抜かないでください。直射日光およびグリースやオイルの影響から保護してください。

ピックアップを十分に潤滑します (「潤滑とメンテナンス」セクション参照)。

チェーンを取り外し、溶剤で洗浄します。次に、乾燥して重油を塗布します。

摩耗または損傷した塗装部を補修します。

次のシーズンに必要な交換部品のリストを作成し、早期に注文します。

CC03745,00001BD-40-07NOV00-1/1

ピックアツプの保管からの復帰

必要に応じて、ピックアップを十分に清掃します。

チェーンを清掃し、取り付けます。

ピックアップを十分に潤滑します (「潤滑とメンテナンス」セクション参照)。

すべての金具の締まり具合を点検します。

タイヤ空気圧を点検し、必要に応じて空気を入れます。

ピックアップを数分間、無負荷および半分の回転数で運転します。ベアリングに過熱や過度の緩みがないか点検します。

オペレータマニュアルを確認します。

CC03745,00001BE-40-07NOV00-1/1

機械の設計寿命

この機械は長期間にわたって生産性の高い作業ができるよう設計および製造されています。ただし、実際の寿命は作業条件の過酷さや推奨メンテナンスの実施の有無など、多くの要因によって変わります。(このマニュアルの「整備」セクションを参照してください)。

KEMPER 取扱店に依頼して機械の定期的な点検と検査を受けてください。検査によって、整備の推奨、部品の修理、再生または交換、あるいは寿命による機械操作の中止を求められる場合があります。(機械の部品の廃棄およびリサイクルについては、このマニュアルの「廃棄」のセクションを参照してください)。

安全に関わる部品が喪失または整備を要する場合、機械を使用しないでください。安全標示ラベルを含む、喪失または損傷した安全に関わるすべての部品を修理または交換してから作業してください。

KM00321,000092C-40-13APR19-1/1

N3003 ピックアップ

作業幅	3.00 m (9 ft. 10 in.)
全体幅	4.06 m (15 ft 1.1 in)
長さ	1.35 m (4 ft 5.2 in)
高さ	1.40 m (4 ft 7 in)
重量	1280 kg (2822 lb)
歯数	4 x 40
ストリッパの直径	256 mm (10 インチ)
コンベアオーガ直径	560 mm (22 インチ)
コンベアオーガのタイプ	調整式パドル

KM00321,0000A5E-40-28SEP20-1/1

騒音レベル

DIN ISO 11204 に基づくオペレータが受ける最大騒音レベル 測定方法はピックアップをフォーレージハーベスターに取り付けキャビンを閉めて行い ISO 5131 に準拠 (平均値)。

N3003	78.5 dB(A)

KM00321,0000A5F-40-22APR20-1/1

EU 法規遵守の宣言

Kemper GmbH & Co.KG
Am Breul
D-48703 Stadtlohn, Germany

下記署名者は以下を宣言します。
製品
機械の種類：ピックアップ
モデル：N3003

この製品は以下の指令と関係するあらゆる規定および基本要件にすべて適合します。

指令	番号	認定方法
機械指令	2006/42/EG	自己認証
農業機械の安全：第 1 項	DIN EN ISO 4254-1	自己認証
農業機械の安全：第 7 項	DIN EN ISO 4254-7	自己認証
機械の安全	DIN EN ISO 12100	自己認証
ユニバーサルジョイントシャフトとその保護装置	DIN EN 12965	自己認証

技術構造ファイルの編集を許可した欧州共同体に属する人物の氏名および住所：
Brigitte Birk
Mannheim, Germany D-68008

この法規遵守の宣言はメーカーの責任において発行されています。
宣言場所：48703 Stadtlohn, Germany
宣言日：2020 年 3 月 1 日
製造ユニット：Kemper Stadtlohn

氏名：Richard Wübbels
役職：Manager Product Engineering

KM00321,0000A60-40-22APR20-1/2

DXCE01—UN—28APR09

CE

KM00321,0000A60-40-22APR20-2/2

シリアル番号

ピックアップを識別するシリアル番号は、工場シリアル番号プレート上に刻印されています。

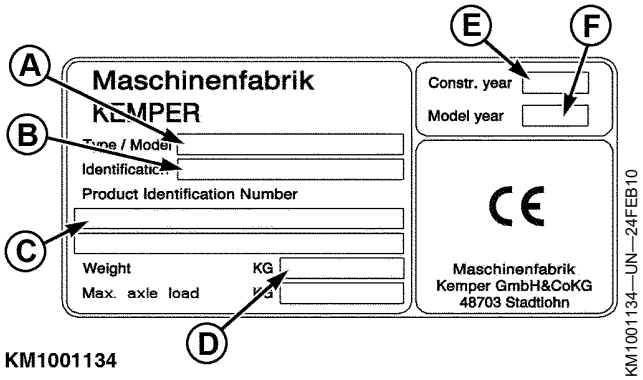
ピックアップの交換部品を注文するときは、これらの番号と文字が必要になります。

この番号をすぐ確認できるように、図の空欄に該当するシリアル番号を記入してください。

CC03745,00001E1-40-16NOV00-1/1

ピックアップのシリアル番号プレート

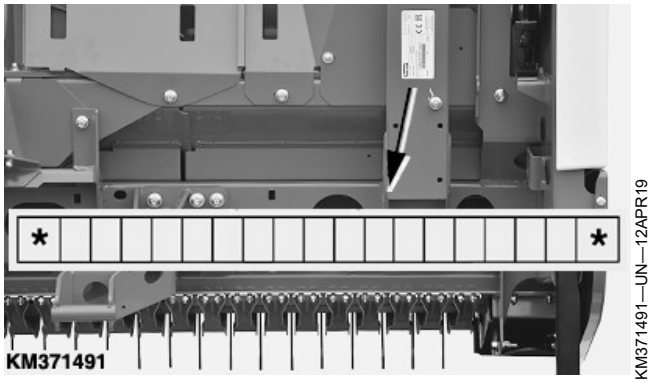
A：タイプ
B：モデル名
C：製品 ID 番号
D：重量
E：製造年
F：モデル年度



KM00321,0000926-40-12APR19-1/1

シリアル番号の記録

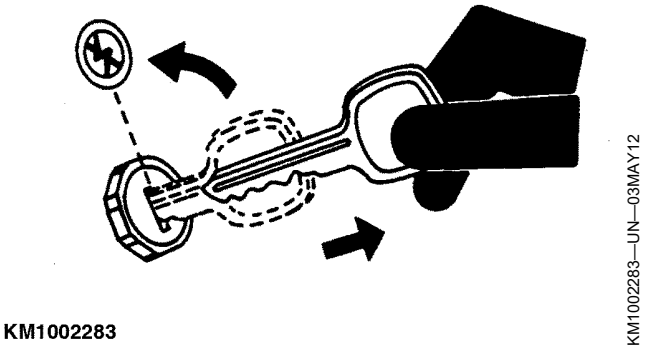
シリアル番号はピックアップの右側に表示されています。



KM00321,0000927-40-12APR19-1/1

機械の安全の確保

1. バンダルプルーフ装置を取り付けます。
2. 機械の保管時：
   - 装置を地面に降ろします。
   - ホイールを最広の位置に設定して、荷積みをより難しくします。
   - キーを抜いてバッテリーを取り外します。
3. 屋内への駐車時は、出口の前に大型の装置を配置し、保管している建物に施錠します。
4. 屋外への駐車時は、十分に明るいフェンスで囲まれた区域に保管します。
5. 疑わしい行為をメモして、盗難をすぐに警察に報告します。
6. 紛失を KEMPER 販売店に知らせます。



KM00321,0000928-40-12APR19-1/1

ページ

N

N3003 ピックアップ
　仕様 75-1

う

ウィンドローコンプレッサロール
　上昇させたウィンドローコンプレッサロールの下側での作業 45-1
ウィンドローピックアップ
　吊り下げ点 15-1
ウインドローコンプレッサロール、操作 45-3
ウインドローコンプレッサロール、動作位置 45-2

く

グリース
　極圧および多目的 55-1

こ

ゴミネット 65-3

さ

サイドガードを開く 45-9

し

シーズンの初め 70-1
シグナルワード、理解 05-1
シリアル番号
　位置 80-1

と

トラブルシューティング
　ピックアップの操作 60-1
トルク表
　メトリック 65-1

ひ

ピックアップ
　アタッチメント 30-1
ピックアップ、操作
　ウィンドローコンプレッサロール 45-3
　ウインドローコンプレッサロール、動作位置 45-2
ピックアップの取り外し 35-1
ピックアップの取り付け 30-1
　ジャッキスタンド高さ 30-1

ページ

ピックアップの準備
　ゲージホイール高さの設定 25-1
　開梱と最初のステップ 25-1
　自動オーガリフトの調整の点検 25-2
ピックアップの操作
　ローラー圧縮装置のレーキ 45-4

ふ

フィードオーガ
　パドルの取り外し 45-9
　パドルの調整 45-9

ほ

ボルトとねじのトルク値
　メトリック 65-1

め

メトリックボルトとねじのトルク値 65-1

ら

ラッシングポイント 15-2

ろ

ローラー圧縮装置
　ローラーの取り付け方向 65-2

漢字

安全
　オペレータの能力 05-2
　安全なメンテナンス、実行 05-5
　騒音対策 05-10
運搬
　ラッシングポイント 15-2
金具のトルク値
　メトリック 65-1
合成潤滑剤 55-1
仕様
　N3003 ピックアップ 75-1
　騒音レベル 75-1
集中チェーン潤滑装置
　オイルリザーバー 65-3
　オイル流量の調整 65-4
　潤滑油ポンプのエア抜き 65-3
潤滑
　ゲージホイール 55-3
　ジャッキスタンド 55-5

次のページへ

ページ

ピックアップ駆動軸 55-3
フィードオーガのピボットポイント 55-4
駆動チェーン 55-2
潤滑とメンテナンス
潤滑間隔..... 55-1
潤滑剤
混合 55-2
潤滑剤の混合..... 55-2
潤滑剤の保管
保管、潤滑剤 55-2
整備
駆動チェーンの調整 65-2
騒音レベル 75-1
代替潤滑剤 55-1
調整
ゲージホイール高さ..... 45-6
スクレーパー 30-5, 45-7

ページ

フィードオーガスプリング..... 45-7
フィードオーガパドル..... 45-9
フィードオーガ高さ..... 45-7
ローラー圧縮装置 45-4
ローラー圧縮装置のレーキ 45-4
ローラー圧縮装置の作業高さ (オプション)..... 45-4
自動オーガリフト (オプション) 45-8
動作位置へのウインドローコンプレッサロールの設定 ... 45-2
道路交通規制..... 40-1
保管
シーズンの終わり 70-1
シーズンの初め..... 70-1
輸送
ウインドローコンプレッサロール、輸送位置 40-1
道路交通規制 40-1